

資料編

新宿区立図書館事業報告書

(令和3年度～4年度)

報告書名	ページ
1 重点事業報告シート	68
2 全館取組み事業報告シート	98
(1) 夏目漱石関連事業	98
(2) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック関連事業	103
(3) 区の各部署との連携事業	108
(4) 図書館を応援する地域団体との協働事業	113
(5) 調べ学習への支援	118
(6) 新型コロナウイルス感染症対策下における取組み	123

重点事業報告シート及び全館取組み事業報告シート(1)～(6) の各図書館掲載順は、以下のとおりです。

- ①中央図書館・こども図書館、②四谷図書館、③鶴巻図書館、
④西落合図書館、⑤戸山図書館、⑥北新宿図書館、⑦中町図書館、
⑧角筈図書館、⑨大久保図書館、⑩下落合図書館

中央・こども図書館重点事業報告シート

重点事業名	2 地域資料の充実
【事業内容】 新宿区ゆかりのマンガや文豪などの地域資料の収集に取り組みます。	
【取組み内容】 ①新宿ゆかり文豪などの著作物等を積極的に収集 ②地域資料（地域資料マンガを含む）の収集 ③収集した地域資料を活用した展示・貸出	

【実施した取組み内容】 ①②新宿ゆかりの文豪関連作品や地域資料マンガを収集した。（令和5年4月1日時点） 夏目漱石関連図書886冊、地域資料マンガ133冊、手塚治虫関連図書873冊所蔵。 （関連図書受入れ内訳） 令和3年度受入れ冊数：夏目漱石関連図書5冊、地域資料まんが7冊、手塚治虫関連図書10冊 令和4年度受入れ冊数：夏目漱石関連図書27冊、地域資料まんが8冊、手塚治虫関連図書3冊	
③地域資料を活用した図書展示を行った。 (ア)「夏目漱石コレクション特別展示」 1階ガラスケース書架により禁帯の地域資料を展示。 禁帯出資料を中心に年3回程度入れ替えを行っている。 (イ) 1階エレベーター前での資料展示（一部の展示は、2階展示コーナー併用） 令和3年度図書展示「新宿ゆかりの人物～あの人もこの人も！～」「新宿区政七十五周年～新宿百面相～」 令和4年度図書展示「新宿区立中央図書館、半世紀の道のり」「本の中で描かれた新宿」 (ウ) 2階展示コーナーの増設（令和5年2月）東京オリンピック2020終了後、オリ・パラ展示コーナーを「新宿区ゆかりの人物」展示コーナーに変更して運用を開始。 (エ)来館できない方などに向け、オンライン講座「夏目漱石朗読会」を実施した。（現在も引き続きホームページで公開中）併せて、令和4年度は実演も行った。 令和3年度「夏目漱石朗読会 ～漱石のえがいた生き物～」 令和4年度「夏目漱石朗読会 ～新宿区ゆかりの作家 ちょっと不気味な朗読会～」	

指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
関連図書受入れ冊数※	22	38	40
朗読会参加者数	—	21	30
朗読会アクセス数	671	604	700
展示回数	2	2	3
展示図書総貸出冊数	331	284	350

※関連図書受入れ冊数…夏目漱石関連図書、地域資料まんが、手塚治虫関連図書の合計

次年度に向けた改善点 夏目漱石関連図書、地域資料まんが、手塚治虫関連図書などの関連図書受入れを引き続き収集し年間40冊の受け入れを目指す。収集した地域資料については、関連テーマを設けて展示し、閲覧の機会を設けたり、貸出増につなげていく。関連行事はひろく広報に努め、参加人数を増やしていく。
--

図書館運営協議会からのコメント 漱石以外にも新宿区にゆかりのある人物はいると思うので、広く紹介してほしい。

中央・こども図書館重点事業報告シート

重点事業名	9区内で活動する様々な人々・団体・企業等の活動支援 15区民との協働
【事業内容】 旧校庭を『そらとだいちの図書館』として『みんなの居場所をみんなでつくる』をモットーに図書館のにぎわい創出や地域のゆるやかなつながりづくりをボランティアと進めます。	
【取組み内容】 ①そらとだいちの図書館運営ボランティアの設置 ②ボランティアによる菜園運営やひろば開放などの自主活動 ③ボランティアによる企画運営・広報活動 ④図書館による活動支援：予算確保・ボランティアとの調整・図書館内外との調整・活動報告	

【実施した取組み内容】

①そらとだいちの図書館運営ボランティアの設置
令和2年12月 「新宿区立中央図書館旧校庭の暫定活用ボランティア実施要綱」を策定
令和3年3月 そらとだいちの図書館（旧校庭活用）ボランティア活動開始。（3月28日参加者13名）
令和3年4月 新型コロナウイルス感染症等の対策をしながら、菜園運営、ひろば開放等の活動を始める。
②(ア)菜園運営
令和3年春 土壌攪拌等改良工事後、4月にボランティアによる苗植え会を実施。
令和3年夏 ひろば開放にあわせ、菜園や広場の雑草抜きなどの「お手伝いポイント」制度を開始。 ポイントに応じて収穫した野菜や花を配布。
令和4年 前年度の活動に加え、コンポストの勉強会などを開始。常時12種類程度栽培中。
(イ)ひろば開放
令和3年度 感染症対策等を講じながら、ひろば開放を実施開始。月2～3回程度を継続中。
令和4年度 ライブラリーボックス、オリエンテーションの開催を定例化。（月1回）
③(ア)企画運営
菜園野菜の苗植え会・収穫体験、資源の循環を生み出すコンポストづくり、ハーブガーデンづくり等
(イ)広報活動
ホームページの開設・運営、Twitter、Facebook、Instagramでの情報発信を継続。J:COM3回放送あり。
(ウ)外部団体とのコラボレーション企画
博物倶楽部（科学実験や標本展示等）、東京医科大学看護学科地域貢献活動委員会&新宿ふれあい会（車いすの試乗や高齢者疑似体験等）、エコギャラリー（虫の観察&調べ学習等）、絵本読み聞かせ団体「よんでの会」（読み聞かせ）、東京平版、早大サークル農学塾 等
④(ア)予算確保（内訳は菜園運営関連のみ）
(イ)ボランティア募集、登録後の案内、会議会場の提供及び参加

指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
ボランティア登録者数(人)	42	57	68
広場開放(回数)	21	23	26
参加者数(人)	453	849	930
コラボイベント（回数）	0	8	10
コラボイベント（人）	0	173	210
決算額(円)	54,000	359,560	現状維持

次年度に向けた改善点

イベントやひろば開放を含め、家族連れの利用者には定着しつつある。逆に、家族連れ以外は参加しづらい面があるため、今後は様々な年代の利用者がくつろぎの場として活用したり、活動できる場として整備をすすめる。

図書館運営協議会からのコメント

予算については何に使用されているのか。また、参加者も増えているので、今後も活用してほしい。

中央・こども図書館重点事業報告シート

取組み事業名	21 絵本でふれあう子育て支援
【事業内容】 「第五次新宿区子ども読書活動推進計画」に基づき、プレママ・プレパパへの読み聞かせ啓発や、中高生の利用促進などを進めていきます。	
【取組み内容】 ①プレママ・プレパパへの読み聞かせ啓発 妊娠期にあるご家庭の方に対し、絵本の意義や読み聞かせについて扱う講座を開催する。 ②中高生の図書館利用促進 図書館から離れてしまう年代である中高生に対し、図書館への関心や利用意欲を高める展示・イベント等を開催する。	

【実施した取組み内容】

①プレママ・プレパパへの読み聞かせ啓発
感染症対策を講じながら、下記のテーマで年1回講座を開催するとともに、関連展示として講座で使用した絵本や講師の著作物をこども図書館にて展示した。
令和3年度「絵本がつなぐ親と赤ちゃん 赤ちゃんは絵本が大好き～おすすめの絵本の紹介・選び方・読み方・楽しみ方」（講師：代田知子氏）
令和4年度「子育てに絵本を！～絵本は子育ての強い味方です。絵本の楽しさや、わらべ歌との共通点など、絵本を紹介しながらお話しします」（講師：児玉ひろ子氏）
②中高生の図書館利用促進
(7)中高生による資料展示
近隣の中学校・高校と連携し、中高生がおすすめしたい本の展示をこども図書館内で行った。
「新宿西戸山中学校 図書委員のおすすめの本」新宿西戸山中学校
展示資料数 41冊 貸出数 68冊
「海城生がよんでいる本 よんできた本」海城中学・高等学校
展示資料数 64冊 貸出数 85冊
「全世界熱狂!! スポーツのあれこれ」保善高等学校
展示資料数 49冊 貸出数 32冊
(4)中高生向けイベントの実施
新型コロナウイルス感染拡大のため、中高生向けイベントは実施しなかった。

指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度の目標値】
講座参加者数	14	17	30
連携校数	2	3	3
展示総数	51	154	170
展示資料貸出総数	74	185	190
中高生向けイベント	未実施	未実施	1

次年度に向けた改善点

引き続き保護者等に対し専門講師から読書の楽しさや意義を学ぶ機会を提供して、事業の定着を目指す。

近隣の中学校や高校との連携による図書展示を継続するほか、中高生向けイベントを実施し、さらなる図書館利用促進につなげる必要がある。

図書館運営協議会からのコメント

周知方法や参加方法をイベント内容にあわせてはどうか。来館での参加が難しくてもスマホなどで参加できるなど、多くの方が参加できるといいと思う。

四谷図書館重点事業報告シート

取組み事業名	12 魅力あるイベントの実施
【事業内容】 内藤新宿をはじめとする新宿や四谷の歴史や文化を区民に伝えます。	
【取組み内容】 ①内藤とうがらしを使用した調理ワークショップ	

【実施した取組み内容】

①内藤とうがらしを使用した調理ワークショップの実施

内藤町ゆかりの食材である内藤とうがらしの栽培を四谷区民センター8Fで行い、かつて新宿で栽培されていた内藤とうがらしの中南米から日本への伝来、歴史を四谷地域に広く周知する。

栽培した内藤とうがらしを地域センター調理工作室で調理し、参加者に提供して味わってもらうことで、地域の方々に内藤とうがらしの食文化や育て方を知っていただき、内藤とうがらしの普及に努める。

四谷図書館で苗から栽培、収穫したものと多種のとうがらしを調理して食べ比べるイベントを実施した。材料は図書館栽培のとうがらし、本場韓国の米粉、韓国おでん、韓国とうがらし4種を使用。チャプチェ、チヂミ、ふりかけの3種を製作した。

料理教室のように講師が作り、参加者が手伝い、出来上がる料理を食べる形式とした。

指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
参加者数	10	9	15
開催数	1	1	2
関連資料展示数	未実施	未実施	20
貸出数	未実施	未実施	30

次年度に向けた改善点

とうがらしを使った料理については興味のある方が多いと思われる。アンケートの回答によると、「テーマにひかれて」「内藤とうがらしを育てているから」が多くあり、今後も参加者のレベルに合わせて初級・中級に分かれて開催するなど料理の紹介をさらに工夫する。

今後はイベントに合わせて資料の展示も実施し、関連資料の貸出に繋げていく。

四谷図書館重点事業報告シート

取組み事業名	8 外国人に対する支援 17 読書環境の充実
【事業内容】 国内や海外の雑誌や外国語の図書の収集に力を入れます。	
【取組み内容】 ①外国語の図書に親しんでもらうため、多読のイベントを開催する。 ②外国語資料（洋書）の収集 ③海外の雑誌の提供	

【実施した取組み内容】

①暗記も辞書もいらない楽しい英語多読

(7)初心者向け講演会＆ワークショップ（年3回開催）

「『絵をじっくり見ながら英文を読む』は新鮮な体験であり楽しんでいた」

「続編が開催されたら参加したい」

「子ども向けにもしてもらえたら嬉しい」

「英語に親しむには様々な方法があることがわかった」

「小学生に英語体験をさせたいという目的だったが、自分もやってみたいと思った」

「図書館でこんなにたくさんの英語本を借りられるのも魅力」などの感想が寄せられた。

令和4年度に親子での参加者が3組あり、今後は子ども向け多読の開催も検討したい。

(1)応用編 経験者向け講演会＆ワークショップ（令和4年度 1回開催）

参加者は多読の楽しさを感じて下さったようで、良かったとの感想をいただいた。

1名の開催となったが中身の濃いワークショップとなった。

②外国語の資料を積極的に受入れしている。（多読イベント用や寄贈含む）

令和4年度実績内訳 英語；236冊 朝鮮語；31冊 中国語；20冊 フランス語；2冊

③洋書雑誌を定期購入し、利用者に提供する。

令和4年度より『MONOCLE』（イギリス）『Cambio16』（スペイン）の2誌を受入開始。

上記を含め国別外国語雑誌は7か国、6言語あり。（イギリス・アメリカ、ドイツ、スペイン、イタリア、中国、韓国）

指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
参加者	15	39	40
開催数	4	4	4
洋書資料数	240	289	340
洋書雑誌数	60	84	72

次年度に向けた改善点

新型コロナが5類になることでイベントの募集人数も緩和されると思われる。参加人数を、希望者が参加できるような人数に増やしていく。

四谷図書館重点事業報告シート

取組み事業名	17 読書環境の充実		
【事業内容】 テーマ特設展示や棚展示など、工夫を凝らした資料展示を行う。			
【取組み内容】 各展示を通して、日頃から貸出している利用者以外の方に働きかけて貸出に結び付ける。 ①平和図書展示 ②一般展示（図書、視聴覚資料等） ③夏目漱石関連展示			
【実施した取組み内容】 ①平和図書展示（平和啓発事業） 「戦争と平和に関するパネル展示『戦争と芸術文化』」（令和3年度） 太平洋戦争開戦～その時、国民はどう受け止めたのか～（令和4年度） ②一般展示（図書、視聴覚資料等） (ア)令和3年度 15回実施 「おはなしの木」「イメチェン!」「災害から学ぶ。」「雨・しとしと」「うちのじかん」「私の自由時間」 「怪談を楽しむ」「スポーツの季節」「夏、はじめました!」「のりもの」「夏の勉強対策」「江戸の水 玉川上水」「ほくほく・Hoku Hoku・ホクホク」「ミステリー」「Season」 (イ)令和4年度 22回実施 視聴覚展示 「だいたい80年代」「ハードロック」「家族で音楽」「クリスマス」「冬に聴きたいあの曲、この曲」 児童展示 「夏休みオススメ図書」 一般図書展示 「〇〇〇集めました! ～開けてびっくり!お楽しみ袋～」 「夏、食べたいもの」&「ダイエット」「そろそろ本気出す!! ～夏に読みたいビジネス書～」 「これだけは読んでおきたい! ～ベストセラー・受賞作～」 「ピンクリボン月間関連展示」「あなたの知らない世界」「ちょっとお出かけ」「のりもの」「Season 秋」「お酒とおつまみ」「空を見上げて」「他力本願だっというんじゃない? 神社&お寺」「きみはかわいい」「クリスマスお節パーティー料理」「おいしく食べて健康に」「ファンタジー 空想の世界へ」 ③夏目漱石関連展示 「知っているようで知らない漱石」「夏目漱石の生涯」（令和3年度） 「漱石、アレ?これ!」（令和4年度）			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
展示資料貸出冊数	3,998	3,041	4,500
展示回数	18	24	36
次年度に向けた改善点 過去の好評だった展示と、新しい企画展示を組み合わせる貸出数の増加に結びつけていく。			

鶴巻図書館重点事業報告シート

取組み事業名	2 地域資料の充実
【事業内容】 夏目漱石ら早稲田・鶴巻地域ゆかりの人物や歴史、地場産業である印刷・製本関連産業についての資料収集や展示の充実を図ります。	
【取組み内容】 ①平和事業で、早稲田由来の人物に焦点を当てる ②早稲田・鶴巻地域の歴史を学ぶ学習機会の創出 ③郷土資料と地場産業の印刷・製本関係資料の収集	

【実施した取組み内容】 ①平和啓発事業で、早稲田由来の人物に焦点を当てる（資料展示、パネル展示等） 令和3年度：早稲田大学に在籍していた「杉原千畝」、早稲田に日本事務所を構える「国境なき医師団」 令和4年度：牛込馬場下町に邸宅があった「犬養毅」、「緒方貞子」（展示のほか講座、映画会も開催）	
②早稲田・鶴巻地域の歴史を学ぶ学習機会の創出 (ア)令和3年度「早稲田界隈の今昔」 地域史家の羽原清雅氏を講師として、江戸時代から昭和前期に至る地域の歴史についての講座を開催。 続編として医師の松本清順や清国留学生など明治以降に焦点を当てた講座を開催した。 (イ)令和4年度 早稲田鶴巻地域歴史×平和講座（夏の平和啓発事業とリンク） 第一部「生誕100年大隈重信」第二部「五・一五事件から90年犬養毅」の連続講座を2週連続で開催した。	
③郷土資料と地場産業の印刷・製本関係資料の収集 (ア)郷土資料の収集 早稲田鶴巻地域は多角的視点で郷土資料が見込まれるため、積極的に資料収集に努めている。新刊を購入できない資料については早稲田古書店街から購入。 また、早稲田鶴巻地域について書かれている部分の調査を図書館サポーターの方に依頼している。 (イ)地域資料コーナーに「新宿区ゆかりの人物」を設置 (ウ)資料の電子化 令和3年度に「大鶴巻町」を歴史博物館より借用し、鶴巻図書館指定管理者が複製本を作成・電子化した。 新宿区立図書館の利用者開放端末から館内閲覧可能。 (エ)印刷・製本の常設展示 新宿区の地場産業「印刷・製本」の常設展示を行っており、資料を積極的に収集している。 (オ)製本ワークショップの開催 毎年「製本ワークショップ」を実施。関連図書展示と図書目録、パスファインダーの配布を行っている。	

指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
平和展示の資料数	102	89	110
平和イベント参加者数	未実施	13	20
歴史講座参加者数	68	35	40
地域資料受入数	152	231	300
印刷・製本資料受入数	45	38	50

次年度に向けた改善点

さまざまな歴史を持つ地域だけに、地域史に関心を持つ方が中高年齢層を中心に多い。実際に地域の歴史的な場所を巡るツアーを企画してほしいとの声もあるので、座学だけでなく外に出る企画も検討したい。

鶴巻図書館重点事業報告シート

取組み事業名	14 情報の生産・発信・交流の支援
--------	-------------------

【事業内容】

自治会や商店街などと協働して、子どもから高齢者までの各世代のニーズに応じた講座・サービスなどを企画・提供し、積極的に情報発信します。

【取組み内容】

- ①地元早稲田グランド商店会主催の「早稲田かつおフェスタ」の盛り上げに協力する
- ②鶴巻図書館報「つるさんのおたより」に、たくさんの地域情報を盛り込み、関心を持ってもらう
- ③その館報を町内会の回覧板にはさみ、多くの地元の方に読んでいただき図書館に親しみをってもらう

【実施した取組み内容】

- ①早稲田かつおフェスタ
早稲田グランド商店会は、東日本大震災を機に「早稲田かつおフェスタ」を創設。東北特産品の販売や紹介、提供を通じた被災地支援や、居酒屋などでのかつお料理の提供などを行っている。
地域の図書館として連携したいと考え、「早稲田かつおフェスタ」のチラシを図書館内に置き、利用者にイベント周知をした。
また、フェスタの実施に合わせ、関連本を展示し、令和3年度「健康に欠かせない青魚のヒミツ～秘められたパワーとは～」、令和4年度「未来を開く商店街 地域の活性化をめざし」の各講座を開催した。
- ②鶴巻図書館館報「つるさんのおたより」
「わせだ店描」と題して、地域の特色あるお店の紹介や地域にある名建築物を訪ね歩く企画を掲載。染色や印刷など地場産業に関わる職人へのインタビュー記事を不定期で掲載している。
年毎に取りまとめ地域資料として受け入れする予定。
- ③館報の町内会回覧板での周知
図書館周辺の各町会長の協力を得て、町会内に廻る回覧板のすべてに「つるさんのおたより」をはさみこみ、来館されない地域の方にも読んでいただいている。配布部数は鶴巻西、南、北の3町会と早稲田町町会の4町会合わせて1発行につき120部(年4回)。

指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
フェスタチラシ配布	100	100	100
関連講座参加者数	8	13	20
「かつお」展示資料数	87	81	100
館報発行部数	2,820	2,120	2,000
館報回覧板用配布数	480	480	480

次年度に向けた改善点

図書館、中でも地域館は、それぞれの地域の特色に合わせた資料収集を心掛けているが、それにとどまらず、地域に向けて情報発信する姿勢も必要だ。現状を維持にとどまらず、さらに図書館だよりの配布先を広げたい。具体的には地域交流館などを考えている。

鶴巻図書館重点事業報告シート

取り組み事業名	20 学校等との連携
【事業内容】 学校との連携を進め、YA本の帯デザイン賞などを通じ、青少年の魅力ある読書活動の機会を一層後押しします。	
【取り組み内容】 ①本の帯デザイン賞を知ってもらうための学校への周知・広報活動 ②適切な審査の実施 ③応募者の励みになるよう優秀作品を展示することで、来館者へも本の素晴らしさを伝える	

【実施した取り組み内容】

①学校への周知・広報等 新宿区内の公立を中心とする中学校と応募が期待できそうな高校計約15校にポスターやチラシを送付し、校内での周知を依頼した。 より事業への積極的な参加を求めるため、校長あてに電話で事業について説明を行った。その結果、令和3年度は学習院女子中等科、令和4年度は区立牛込第一中学校が学年単位で作品提出を学校の課題として位置づけてくれ、多くの作品応募につながられた。
②適切な審査 最終審査は地元の関係者へ依頼。 令和3年度：藤原良雄氏(藤原書店社長)、山浦真一氏(あすなろ書房社長)、飯島悟氏(三幸書房店主) 令和4年度：山浦真一氏(あすなろ書房社長)、向井透史氏(古書現世店主)
③作品の展示及び来館者への周知 下記のことを鶴巻図書館内に展示し、応募者の励みとするとともに、来館者に対しても作品を通して各図書の魅力を伝える。 最優秀作3点 入選10点 最終審査に残った約30作品

指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
周知対象学校数	15	15	20
作品応募数	271	97	200
展示日数	24	23	24
ちらし配布数	80	80	100

次年度に向けた改善点

応募数は、展示に耐えうる一定のレベル以上の作品を集めるのに十分ではあるが、事業の趣旨に照らしてさらに裾野を広げたい。

そのために、近隣の学校にとどまらず、区内全体で学校側への周知に力を入れたいと考えている。

単に案内を郵送するのではなく、できる範囲で、電話や訪問で趣旨の説明もあわせて実施する。

西落合図書館重点事業報告シート

取組み事業名	12 魅力あるイベントの実施
【事業内容】 ミステリークエスト～夏目漱石からの挑戦状～は、対象をすべての利用者に拡大します。	
【取組み内容】 夏目漱石のことを知ってもらい、その作品に触れるきっかけを作ることを目的として、漱石山房記念館と連携して謎解きイベントを実施した。	

【実施した取組み内容】

①謎解きイベント「ミステリークエスト～夏目漱石からの挑戦状～」開催 両館を訪れることによって解ける問題を作成配布し、夏目漱石についての資料に触れてもらうとともに、来館者数増加をはかった。	
(ア)令和3年度「ミステリークエスト～夏目漱石からの挑戦状～Ⅲ」 A4 12ページ 期間：令和3年12月5日（日）～令和4年1月10日（月・祝） 問題の種類：上級、中級、初級（初級・中級が小学生向け、上級が中学生以上一般向けの3種類） 配布数：上級79冊、中級35冊、初級64冊 参加費：無料（漱石山房記念館は土日祝日と12月26日から1月10日までは小中学生入館料無料。） 広報：図書館ホームページ、「Oh!レガス12月5日号」、読売新聞2022年1月6日朝刊地域欄、掲載	
(イ)令和4年度「ミステリークエスト～夏目漱石からの挑戦状～Ⅳ」 A4 12ページ 期間：令和4年7月22日（金）～令和4年8月24日（水） 問題の種類：小学生向け、中学生以上一般向け（2種類） 配布数：小学生向け142冊、中学生以上一般向け214冊 参加費：無料（漱石山房記念館は土日祝日と7月22日から8月24日までは小中学生入館料無料。） 広報：図書館ホームページ、「広報新宿7月15日号」「Oh!レガス7月5日号」掲載	

指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
参加者数（子ども）	99	142	160
参加者数（大人）	79	214	230

次年度に向けた改善点

令和4年度から大人も対象にした。しかし、クイズの内容は子ども向けと大人向けで同じ（両者の違いは、ヒントの数とひらがな・漢字表記のみ）であったため、今後は大人をターゲットにした問題を作成する。

西落合図書館重点事業報告シート

取組み事業名	16 新宿区子ども読書活動推進計画
【事業内容】 子育て支援事業を核にして教育機関と連携しながら図書館利用をPRしていきます。	
【取組み内容】 ①子育て講座の開催 ②出張おはなし会の開催 ③図書館情報発信	

【実施した取組み内容】 ①子育て講座の開催 対象は未就学児を持つ保護者向けのため、子供連れも可とし、乳幼児の託児も設置した。 令和3年度：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 令和4年度：「わたしのもできる"おうち性教育"」令和4年5月28日（土）参加者8名 ②出張おはなし会の開催 近隣の幼稚園・保育園・小学校に図書館職員が出張し、読み聞かせを行った。 ③図書館情報発信 情報誌「このほん読んで」を発行。絵本の紹介などを掲載している。 西落合図書館児童コーナーにて配布した。

指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
子育て講座参加者数	未実施	8	15
上記託児実績数	未実施	6	10
出張おはなし会開催数	3	15	20

次年度に向けた改善点

3つの取り組みは、すべて継続していく予定である。

コロナが5類に移行することによって、出張おはなし会の需要も増える予想するため、図書館で出張おはなし会を行っていることを近隣の教育機関に周知する。

情報誌の内容については、絵本の紹介だけでなく、手に取りやすいレイアウトにするなど魅力的な紙面にする。

西落合図書館重点事業報告シート

取組み事業名	6区民の課題解決支援 10博物館・大学等の連携
【事業内容】 区内各部署やまちと連携しながら地域ニーズに応じたサービスを展開します。	
【取組み内容】 ①自殺対策強化月間における連携展示 ②女性の健康についての連携展示 ③落合三世代交流サロンとの連携 ④親子講座	

【実施した取組み内容】 ①自殺対策強化月間展示（健康部との連携） 令和3年度：「たった一人のあなたへ」令和3年9月1日（水）～9月30日（木） 令和4年度：「大切なあなたへ」令和4年9月1日（木）～9月30日（金） ②女性の健康（四谷保健センターとの連携） 令和3年度：「乳がん啓発月間関連展示～自分の心と身体を応援しよう」10月1日（金）～10月31日（日） 「健康づくりで明るい毎日 ～女性の健康～」3月1日（火）～3月31日（木） 令和4年度：「女性の健康・がんについて学ぶ」令和4年10月1日（土）～10月30日（日） 「おうちでできる健康生活 ～女性の健康～」令和5年3月1日（水）～3月31日（金） ③落合第三世代交流サロンとの連携 おちあいFMにおいて図書館情報を放送（コロナ期間中は中止していたが、令和5年1月より再開） 図書館報「にしおち図書館だより」の配布（年間を通して配布） ④親子講座（目白大学人間学部子ども学科と連携） 令和3年度は中止。 令和4年度：「あめのおともだち～工作と手遊び～」令和4年6月25日（土） 「つくっておどって！おにとおともだち！！Let'sオニオニ～」令和5年1月14日（土）	
---	--

指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
①貸出点数	40	38	50
①展示点数	28	37	40
②貸出点数	204	161	200
②展示点数	113	118	110
③おちあいFM放送回数	中止	1	現状維持
③図書館報配布数	40	40	現状維持
④参加者数	中止	44	50
④開催回数	中止	2	現状維持

次年度に向けた改善点

区内各部署との連携は引き続き行い、事業の定着を目指す。

まちとの連携については、落合第三世代交流サロンとの連携は現状維持とし継続しながら、地域の特性やニーズを探りつつ、新たな事業を構想する。また、親子講座については開催数は現状維持するが、参加者増を目指す。

戸山図書館重点事業報告シート

重点事業名	8 障害者に対する支援
-------	-------------

【事業内容】

障害者等サービス拠点館として、誰にでも豊かな読書を支援する図書館を目指します。

【取組み内容】

- ①障害者サービスに関連した資料の収集・常設展示の設置 ②障害者の方への資料貸出
③音訳資料の製作 ④障害者が活躍する姿の紹介
⑤障害者サービスの周知・障害者理解に繋がる事業の実施

【実施した取組み内容】

- ①障害者サービスに関連した資料の収集
障害を取り上げた資料については、基本的に購入しており、一般書架・児童室共にコーナーを設置している。一般書については障害の種類ごとにカテゴリー分けすることで、誰もが見やすい書架づくりを行っている。
- ②障害者の方への資料貸出
(7)視覚障害…デジ図書（視覚障害等により、通常の印刷物を読むことが困難な方のために製作された資料）を郵送貸出によりサービス提供
(1)(7)以外の障害者登録…職員またはボランティアによる家庭配本で提供
(7)近隣の福祉作業所に通う方への図書館見学会を実施
- ③音訳資料の製作
音訳ボランティアグループによる録音図書製作を行い、制作データは国立国会図書館へ提供。
- ④障害者が活躍する姿の紹介
視覚障害者を中心に結成されたトークパフォーマンスグループによる朗読会の実施。（年3回）
令和4年度からは朗読動画の作成にも協力いただき、館外へも活躍する姿を紹介している。
- ⑤障害者サービスの周知・障害者理解に繋がる事業の実施
(7)館内でのサービス紹介のパネル掲示、マルチメディアデジ体験コーナーの設置
(4)館内や若松町特別出張所などで配布している戸山図書館だより（令和4年度総発行部数：1,104部）に関連記事（館内設置の読書補助機器や声の図書館研究会の紹介など）を掲載
(7)マルチメディアデジを使ったおはなし会・読書補助具の工作会の実施
(1)ディスレクシアの特徴とサポート方法をテーマとした講演会の実施
(4)戸山生涯学習館まつりへの参加
所蔵資料の中から大活字本・LLブック・マルチメディアデジなどのバリアフリー資料を展示し、サービスの紹介に努めると共に障害者への理解を促す機会を提供。

指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
資料受入冊数	50	78	90
貸出数（一般書）	1,026	973	1,100
貸出数（児童書）	336	409	450
朗読会参加者総数	10	66	90

次年度に向けた改善点

当事者へのサービス提供、障害者サービスの情報周知などはこれまでよりも充実した内容で展開することができた。その反面、年末の満足度調査アンケートでは、未だ障害者サービスへの認知度が低いため、今後はより情報発信を強化し、多くの方に当館のサービスと情報を届けていく。

戸山図書館重点事業報告シート

重点事業名	8 高齢者に対する支援
【事業内容】 区の関連施設と連携し、高齢者の情報活用能力向上を支援するイベントの実施・関連資料の充実を図ります。	
【取組み内容】 ①アクティブシニア展示及び展示資料の収集 ②高齢者向け事業の実施	

【実施した取組み内容】

①アクティブシニア展示及び展示資料の収集 (ア)65歳以上のシニアを対象とした展示コーナーの設置 定年後も元気に活躍する高齢者がより充実した人生を送ることができるように、令和4年度よりアクティブシニアコーナーを設置した。	
(イ)展示資料の購入 175点の資料を新規に購入し、計225点の資料を常設展示した。年間の貸出冊数は1,575点となり、対象の蔵書回転率は1冊あたり7回となった。	
②高齢者向け事業の実施 (ア)高齢者向けスマートフォン講座 自ら必要とする情報を取得できるよう通信会社から講師を招き、スマートフォン講座を実施。インターネットの使い方・防災情報の取得方法などを紹介。	
(イ)医療セミナー 国立国際医療研究センター病院から専門医を2名招き、「認知症」をテーマとした講演会を実施。新宿区の「認知症安心ガイドブック」を取り寄せ配布した。	
(ウ)くらしの講座「デジタル時代の防衛術」 全国消費生活相談員協会から講師を招き、高齢者が多く被害にあっている様々な消費生活トラブルの実際と対処法について講演会を実施した。あわせて「高齢者見守りハンドブック」を配布した。	

指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
展示貸出数	—	1,575	1,700
スマホ講座参加者数	—	8	15
医療セミナー参加者数	10	22	25
くらしの講座参加者数	—	8	20

次年度に向けた改善点

新設したアクティブシニアコーナーの蔵書回転率は1冊あたり7回となり、当初の情報提供という目的を達成したと考える。地域図書館は、それぞれの地域の特色に合わせた資料収集を心掛けているが、それにとどまらず、地域に向けて情報発信する姿勢も必要だ。現状を維持し、さらに関心を呼び起こす取り組みを引き続きしていきたい。

戸山図書館重点事業報告シート

重点事業名	2 地域資料の充実
【事業内容】 地域と連携し、新宿ゆかりの作家・夏目漱石の人物像と作品に迫ります。	
【取組み内容】 ①関連資料の収集・常設展示の実施 ②企画展示の実施 ③関連事業の実施	

【実施した取組み内容】

①関連資料の収集・常設展示の実施

関連資料を収集すると共に、一般・児童の2か所で常設展示を実施した。

また、初心者でも漱石作品や人物像を知ることができるコーナーとして、一般書架の常設展示には令和3年度下半期より、漱石関連のエピソードを取り上げたコラム「今月の漱石」を毎月掲示した。児童書架の常設展示では、児童向けに作成したパスファインダーを配布した他、漱石作品だけでなく、漱石が生きた時代を調べることができる資料も併せて展示した。

②企画展示の実施

下落合・角筈図書館と連携した企画展示「作家の筆仕舞い」を約2か月間実施した。

漱石の絶筆となった作品『明暗』の一般的な認知度が低いことに着目し、『明暗』の続きを創作した岡山県の山陽学園中学校・高等学校の取り組みを紹介した。

学校からは掲載冊子をご提供いただき、当館で蔵書として受け入れた他、山陽学園の図書館新聞でも当館の展示を紹介していただいた。

併せて新宿区に縁の深い尾崎紅葉や芥川龍之介など作家が最後に執筆した作品に焦点を当てた資料展示を展開した。当館制作のパスファインダーに加え、下落合・角筈図書館制作のパスファインダーも配布を行った。

③関連事業の実施

下落合・角筈図書館と連携した街歩きイベント「漱石さんぽ 第四弾 お墓でめぐる漱石交遊録」を実施した。

4回目の開催となる今回は漱石と友人・知人が眠る雑司ヶ谷霊園と早稲田地域を巡り、交友関係から漱石の人物像と作品の魅力を紹介した。

指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
常設展示貸出総数	355	277	300
企画展示貸出数	164	192	200
漱石さんぽ参加者数	12	15	現状維持

次年度に向けた改善点

企画展示における貸出数は増加したものの、常設展示における貸出数が減少している。

今後は年間を通して、常設展示にも利用者の注目を集めることができるよう工夫を凝らしていきたい。

北新宿図書館重点事業報告シート

重点事業名	8 外国人に対する支援
【事業内容】 多文化共生地域を意識し、多言語資料の充実や異文化に触れる企画など、様々な人が利用しやすい図書館づくりに努めます。	
【取組み内容】 ①外国語資料の除籍・更新、利用促進のための別置コーナーの設置 ②民族楽器など多文化を体験できるイベントの実施	

【実施した取組み内容】 ①外国語資料の除籍・更新、利用促進のための別置コーナーの設置 (ア)出版年の古いガイドブックやパソコン関連資料などについて新しい資料への買い替えを積極的に行った。 (イ)児童絵本コーナーに下記別置コーナーを設置し利用を促した。 「くらべてみよう！」コーナー 言語を示したポップを付け、英語・韓国語・中国語・日本語の4言語の同じ絵本を常設で展示するコーナーを設置した。外国語を勉強する一般の方からの利用もあり、貸出利用の拡大につながった。 「英語で読んでみよう！」コーナー 日本語版でも人気ある作品を中心に選書し、常設で展示するコーナーを設置した。 ②民族楽器など多文化を体験できるイベントの実施 令和3年度「親子で楽しむ！民族楽器ミニミニコンサート～フォルクローレに触れてみよう！～」(中止) 令和4年度「世界のコマの回し方ワークショップ」 桜美林草の根国際理解教育プロジェクト(桜美林大学)との協働で、児童向けに世界の色々な国のコマに実際に触れて、回し方を考える体験型イベントを実施した。 事前に「日本のコマに色づけをして回して遊ぶ工作会」を実施し多くの方の参加につながった。 両イベントに参加した参加者からは「世界にも日本と同じようにコマがあることを知ることができて、楽しかった。」という感想があり、多文化理解の促進につながった。

指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
洋書購入冊数(一般)	143	129	150
洋書購入冊数(児童)	78	61	85
多文化イベント開催数	中止	1	2
イベント参加者数	中止	17	35

次年度に向けた改善点

外国語資料購入と同時に除籍を進めているが、除籍との兼ね合いで購入数を伸ばせないところがあった。今後は外国語資料全体の1割程度の除籍をすすめ、活性化をはかる。

多文化共生のため異文化に触れる体験型イベントの開催数を増やすとともに、一般利用者が参加できるイベントも検討する。

北新宿図書館重点事業報告シート

重点事業名	9区内で活動する様々な人々、団体、企業等の活動支援
【事業内容】 区の各部署や近隣地域団体と連携し、図書館が身近な施設であることを感じていただけるような事業を実施します。	
【取り組み内容】 ①女性の健康支援センターとの連携による「女性の健康づくり講座」、関連資料展示の実施 ②文化観光課との連携による「北新宿歴史講座」（講義・街歩き）の関連資料展示の実施 ③新宿歴史博物館ボランティアガイド朗読の会「ふみのしおり」との協働による朗読会の実施	

【実施した取り組み内容】	
①女性の健康づくり講座・関連展示等	令和4年度講座「女性の健康づくり講座～乳がん・更年期障害・骨粗しょう症について～」 関連資料展示「がんを生きる女性」開催
②北新宿歴史講座・関連展示等	「北新宿歴史講座～歴史さんぽで北新宿をもっと知ろう！～」 「近隣に暮らしながら、知らないことばかりだった。」などの感想が寄せられ、地域の歴史への関心の向上につながった。 関連イベント：「北新宿今昔写真展」 新宿歴史博物館から借用した「昔」の写真と当館スタッフが同アングルで撮影した「今」の写真を対比して展示する写真展。
③北新宿朗読会の開催	新宿歴史博物館ボランティアガイド朗読の会「ふみのしおり」と協働で開催。特に新宿区ゆかりの作家である「夏目漱石」をテーマにした朗読会は、毎年2月に定期的に開催している。また、平和事業開催時期に合わせて「平和を願う朗読会」を親子向け朗読会として実施した。 令和3年度「北新宿朗読会～初春～夏目漱石特集～」(2月) ※夏頃に企画していた親子向け朗読会は開催中止。 令和4年度「親子で楽しむ朗読会～平和を願う林芙美子の童話～」(8月) 「北新宿朗読会～夢十夜をすべて～」(2月)

指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
健康講座参加者数	—	7	15
健康講座展示冊数	31	48	50
健康講座展示貸出冊数	16	64	80
歴史講座参加者数	—	12	20
朗読会参加者数	7	18	30
朗読会開催数	1	2	2

次年度に向けた改善点

講座参加者数を増やすために、周知方法を検討する。

図書館利用者以外の参加者もイベント後に図書館を利用いただけている様子があったが、講座に関連した資料の展示を行うなど継続して図書館利用につながるよう取り組み内容を検討する。

北新宿図書館重点事業報告シート

重点事業名	18 読書活動の支援
【事業内容】 子どもたちの読書活動を支援し、社会への興味や視野を広げるきっかけとなるような、多様なイベントを実施します。	
【取組み内容】 ①読書への興味を喚起するための「読書手帳」の配布 ②イベントの実施	

【実施した取組み内容】

①読書への興味を喚起するための「読書手帳」の配布

読書のきっかけづくり・推進のため、75冊読了達成者にオリジナルシール、120冊読了達成者に読書手帳と同じデザインのオリジナルしおりをプレゼントした。複数冊に到達する児童もいるため2冊目の75冊読了達成者にはオリジナル缶バッジのプレゼントを実施した。親子で取り組む児童もあり、読書活動推進の一助となっている。

②イベントの実施

さまざまな事柄への興味・関心を広げ、読書への興味につなげるため、読み聞かせだけでなく、映画会や工作会、外部機関への見学会などを実施した。

(ア)令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、イベントが多数中止となった。定例のおはなし会、ちいさい子向けおはなし会は11月から再開し、下記の児童向けイベントを開催した。

スペシャルおはなし会（春・ハロウィン・クリスマスの3回）/映画会（春・新春の2回）/工作会（春・冬の2回）/人形劇（1回）

新聞社見学会（1回 読売新聞社を訪問し社内を見学後、終了後に元新聞記者の職員が質問に回答する質問コーナーを設けた）

絵本のワークショップ「ねこ好きあつまれ！お絵かきワークショップ」（講師：絵本作家ひろたあきら氏）

(イ)令和4年度はおはなし会（月2回）、土曜名作おはなし会（月1回）、ちいさい子向けおはなし会（月1回）のほか、下記児童向けイベントを20回、館内外で実施した。

外国語のおはなし会（英語・中国語の2回）/スペシャルおはなし会（春・ハロウィン・クリスマスの3回）/映画会（春・夏・新春の3回）/工作会（春・夏・冬・新春の4回）/人形劇（1回）

北新宿朗読会～親子で楽しむ朗読会「平和を願う林芙美子の童話」（1回 地域ボランティア協働開催）

毎日ミニミニおはなし会（3回 ゴールデンウィーク期間中3日間、全職員が担当）

新聞社見学会（1回 朝日新聞社を訪問し、新聞ができてあがるまでの工程の見学後、終了後に元新聞記者の職員が質問に回答する質問コーナーを設けた）

JICA地球ひろば見学会（区内にある施設を見学・国際協力やSDGsについての学習・海外協力隊の体験談）

世界のコマの回し方ワークショップ（桜美林国際理解教育支援プロジェクトと協働で実施）

指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
読書手帳の配布部数	210	176	190
読書手帳達成者数	29	21	30
おはなし会開催数	16	54	60
映画・工作会開催数	4	7	9
外部機関連携回数	3	5	5

次年度に向けた改善点

読書手帳の参加者数を増やすため、周知方法や複数冊目のオリジナルプレゼントについての再検討を行い、達成者数も増加させるよう努める。令和5年度はイベント後のアンケートで要望のあった「（仮）世界のけん玉ワークショップ」や親子向け上映会の開催数を増やし実施する。

中町図書館重点事業報告シート

重点事業名	2 地域資料の収集
【事業内容】 地域資料、特に神楽坂に関する資料などを幅広く収集・提供します。	
【取組み内容】 ①地域資料の収集 ②地域資料コーナーの新設（児童コーナー） ③「神楽坂 本のまちマップ」の作成	

【実施した取組み内容】 ①地域資料の収集（牛込地区の各年代の古地図） 令和元年度に実施した古地図の展示で、特別区自治情報・交流センターから借用した各年代の牛込地区の古地図が好評だったので、古書店で同じものを探して購入した。	
②地域資料コーナーの新設 児童コーナーに地域資料コーナーを新設した。 現在所蔵している新宿区関係の資料を中心とし、新たに政府・自治体や各種団体が子ども向けに発行したパンフレット資料をファイルごとに整備し、閲覧できるようにした。	
③「神楽坂 本のまちマップ」の作成 地域調べの一助となることを目的に、「神楽坂 本のまちマップ」を年に1回作成して、地域のいろいろな面を取り上げ、地域情報をまとめた。また、あわせて、関連書籍を紹介した。 令和3年度 「神楽坂 本のまちマップー本にまつわる12のスポットー」 出版社や本屋、ブックカフェなど本に関係する12ヶ所と関連の本の紹介。 令和4年度 「神楽坂 本のまちマップー100年続く老舗とおすすめの本ー」 創業から100年以上の老舗と関連の本を紹介。	

指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年目標値】
地域資料受入数	72	79	現状維持
地域資料貸出数	900	861	880

次年度に向けた改善点

チラシ・パンフレット資料や区内の広報誌などの暮らしに必要な情報を整備して、利用者の手に届くようにより見やすく配置する。

受入数についてはスペースの問題もあるので現状維持とするが、「神楽坂 本のまちマップ」の発行と関連させた展示などを工夫し、貸出冊数を伸ばす。

中町図書館重点事業報告シート

重点事業名	6 区民の課題解決支援
【事業内容】 地域の課題解決のために、図書館の利用を促進し、レファレンスの充実と質の向上を図ります。	
【取り組み内容】 ①職員のスキルアップのための研修への参加 ②レファレンスに対応できる蔵書の充実 ③パスファインダーの作成	

【実施した取り組み内容】 ①職員のスキルアップのための研修への参加 レファレンスに関して、職員に対して館内研修を実施した。また、中央図書館の研修などの機会を利用して積極的に受講するよう努めた。 上記に加え、令和3年度は児童レファレンスの研修も実施した。 また、関連して著作権研修、目録研修、フランス文学入門講座などの研修も受講し、職員全員の総合的なスキルアップを図った。	
②レファレンスに対応できる蔵書の充実 収集方針に基づき、中町図書館収集計画を作成し、各分野でレファレンスに対応できる資料の更新と収集に努めた。	
③パスファインダーの作成 利用者が自分で調べることができるよう、毎年テーマを決め、調べ方をまとめた小冊子（パスファインダー）を作成し、館内で配布している。 (ア) 一般向け 令和3年度 「災害・防災について調べる」 令和4年度 「お金について調べる－初めての投資－」 (イ) 児童向け 令和3年度 「自然災害から身を守る」 令和4年度 「お金ってなんだろう」	

指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
レファレンス受付件数	339	381	400
職員研修受講者数	90	63	90
パスファインダー発行数	2	2	4

次年度に向けた改善点

職員のスキルアップと資料の充実は今後も日常的に継続して実施する。

また、満足度調査から、中町図書館の利用者でレファレンス業務について「利用したことがある」と回答した利用者は、20%で推移している。今後さらにレファレンスという業務について知っていただくための工夫をしていく。

中町図書館重点事業報告シート

重点事業名	18 読書活動への支援 26 身近な場所の読書環境の整備
【事業内容】 子どもの成長を支援するため読書活動と子育ての支援に取り組み、また、地域の大学や施設とも連携を図って、読書機会の提供と読書活動支援を行います。	
【取り組み内容】 ①読書活動と子育ての支援（おはなし会を含む） ②読書活動を支える読み聞かせサポーターの育成 ③地域連携	

【実施した取り組み内容】 ①読書活動と子育ての支援（おはなし会を含む） 継続事業で、子どもや大人の読書への興味や読書機会を提供する取り組みを実施。 (ア) 一般向けイベント 「赤ちゃんタイムDE子育て講座～親子で楽しむ手遊び・わらべ歌講座～」 「大人のためのおはなし会」等 (イ) 児童向けイベント 「読書ノートをつくろう!」、「夏休み子ども読書スタンプラリー」、「絵本づくり講座」等	
②読書活動を支える読み聞かせサポーターの育成 「読み聞かせ講座 絵本編」「読み聞かせ講座 紙芝居・手遊び・わらべ歌編」の実施	
③地域連携 様々な連携先と読書活動支援と読書機会の提供を図る事業を実施した。 (ア) 東京日仏学院（旧アンスティチュ・フランセ東京） 「フランス語絵本のおはなし会」 「本のまち散歩～神楽坂の中のフランス～」の実施と「読書のタベ」への参加 (イ) 東京理科大学大学院との連携 「サイエンスおもしろランド」、「算数わくわくランド」 (ウ) 市谷の杜 本と活字館との連携 「本のまち散歩 漱石の文学を味わう」、「本のまち散歩 活版印刷と洋装本」 (エ) 株式会社偕成社との連携 社会科見学「偕成社へいこう!」 (オ)出張おはなし会 令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策のため休止。令和4年度は北山伏児童館、あいじつ子ども園で実施した。 (カ) リサイクル市の開催 「神楽坂 まち飛びフェスタ」「牛込筆筈町地域センターまつり」に参加して、除籍した図書館資料などを提供する「リサイクル市」を開催した。	

指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
一般向け支援イベント	7	7	8
子ども向け支援イベント	50	87	88
連携事業件数	5	29	30

次年度に向けた改善点 令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、出張おはなし会を含む対面イベントが実施できない状態だったが、出張おはなし会を含む連携事業については、今後も重点事業として継続して取り組む。
--

角筈図書館重点事業報告シート

重点事業名	1 資料の充実
【事業内容】 ビジネス支援の拠点館として、最新資料の充実、各種ビジネス展示・講座を実施します。	
【取組み内容】 ①ビジネス関係資料の重点収集 ②ビジネス資料展示の充実 ③ビジネス講座の開催 ④中小企業診断士によるビジネス情報支援相談会の実施	

【実施した取組み内容】 ①ビジネス関係資料の重点収集 毎年度、購入資料の3割強がビジネス関係資料である。 令和3年度：36.8% 令和4年度：35.7%	
②ビジネス資料展示の充実 起業展示の分類を改め、よりわかりやすく整理した。あわせて内容が相当範囲重複していた、複数の分類をまとめた。また、データ上全て「展示1」表記だったものを、各分類ごとに検索できるように、以下のように変更した。	
展示1 ビジネスに役立つ語学 展示10 起業のすすめ 展示11 飲食店の起業 展示12 さまざまな起業 展示13 市場調査	展示14 資金調達 展示15 会社の設立 展示16 従業員の雇用と求人 展示17 会計と納税 展示18 プロモーション・SNSマーケティング
③ビジネス講座の開催 令和3年度：ハラスメント講座、インターネットセキュリティ講座 令和4年度：年金講座、ハラスメント講座、エントリーシートの書き方講座	
④中小企業診断士によるビジネス情報支援相談会の実施 毎月第4水曜日、1人1時間×3コマで予約制で起業相談中心に実施した。	

指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
関係資料購入冊数	1,313	1,241	1,400
展示資料数	758	830	900
講座参加人数	12	23	35
相談会参加人数	7	10	20

次年度に向けた改善点

コロナ禍前と比べ、利用者の関心の対象も変化しているため、関心度の高い新規の講座導入と、行事の広報・パスファインダーなどにおいて、さらなるwebの活用を目指す。

角筈図書館重点事業報告シート

重点事業名	20学校等との連携
【事業内容】 学校や地域団体等と連携し、おはなし会、施設見学、共催事業等、地域貢献に努めます。	
【取り組み内容】 ①近隣の小中学校との連携推進 ②近隣施設での「おでかけおはなし会」の実施	

①近隣の小中学校との連携推進 (7)図書館見学の受け入れ 令和3年度 西新宿小学校2年生58名、柏木小学校2年生52名 令和4年度 西新宿小学校2年生 19名 ※2クラス合同の予定だったが、インフルエンザの影響で学級閉鎖のため、1クラスのみ実施した。 (1)職場体験の受け入れ（中学2年生） 令和3年度 牛込第三中学校2名を受け入れ予定だったが、コロナ禍の為中止。 職場体験はできなかったが、後日、インタビューの申し出があり、どんな仕事をしているか、仕事のやりがいなど、さまざまな質問に答え、図書館についての仕事内容や意義について、伝えることが出来た。 令和4年度 西新宿中学校2名 ブックポストの回収や配本車作業など事務室中心に業務を体験してもらった。
②近隣施設での「おでかけおはなし会」の実施 毎月第二木曜日に西新宿児童館に訪問し、おはなし会を実施した。 令和3年度はコロナの影響で中止した時期があったが、令和4年度5月より完全に再開した。 コロナ禍以前は他の施設でも実施していたため、令和5年度からの再開を目指している。

指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
図書館見学受入数	111	19	120
職場体験受入数	中止	2	5
出張おはなし会開催数	4	11	12
おはなし会参加人数	99	193	200

次年度に向けた改善点

図書館見学や職場体験を通して図書館の魅力をPRし、小中学生にとって親しみやすい図書館を目指す。
 近隣施設での出張おはなし会は令和4年度は西新宿児童館しか再開できていない。なお、令和5年度の夏頃から子ども園、秋から養護学校が再開予定である。

角筈図書館重点事業報告シート

重点事業名	13多様な学習機会の提供 12魅力あるイベントの実施
【事業内容】 常に魅力あるイベントを実施し、区民が集う図書館として、新規利用の取り込みを行います。	
【取組み内容】 ①一般向け事業の実施 ②児童行事の実施 ③学習支援関連事業の実施	

【実施した取組み内容】 ①一般事業 恒例の漱石関連事業とイラスト講座2回、ビジネス関連では年金とハラスメント講座を実施した。 また再開希望の声が多かった、「角筈まちあるき」「角筈寄席」「キネマ角筈」も約3年ぶりに開催した。 新規のイベントでは【ワハハ本舗星川桂の親子料理教室】【絵本ライブ】（児童）、【エントリースートの書き方教室】（ビジネス）を新たに開催した。	
②児童行事 おはなし会94回、児童館への出張おはなし会12回、工作会3回、映画会1回、プーク人形劇1回を実施した。 秋以降は新型コロナウイルスの規制緩和の影響もあり、参加者が増加傾向であった。 また3年ぶりに開催の「新宿中央公園夏祭り」では、例年の読み聞かせではなく、子供に人気の「輪投げ」を図書館の告知も兼ねて実施した。 参加者は405名にのぼり、前回より大幅に参加人数が増えた。	
③学習支援関連事業 自由研究応援講座2回、NTTのメディアアート体験施設への見学会を行った。 「図書館を使った調べる学習コンクール」の全国コンクールでは、高校生の部で2年ぶりに、「文部科学大臣賞」1名、「優秀賞」1名受賞した。 令和4年度の行事に関しては、新型コロナウイルスに対する規制緩和の影響もあり、一般、児童共に計画通りに実施することができた。 新規連携先のイベント開催、人気講座の再開などにより、新規登録者数がR3年度が+198名、R4年度が更に+144名となった。	

指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
イベント参加人数一般	46	164	180
イベント参加人数児童	333	890	1,000
学習支援事業参加人数	51	29	50
新規登録者数	1,127	1,271	1,300

次年度に向けた改善点 3年余りのコロナ禍を経て、当館の利用者層や関心の高いイベントなどにも変化がみられる。 既存イベントの取捨選択と、新規に取組むものを精査しつつ、ビジネス関連のイベントは強化し、「ビジネス支援図書館」の復権を目指す。

大久保図書館重点事業報告シート

重点事業名	12 魅力あるイベントの実施
【事業内容】 日本の方と外国の方とでビブリオバトルを開催し「本を通しての国際交流」を実施します。	
【取組み内容】 ①広報・宣伝活動 図書館を利用される外国人の方々への参加への声かけを積極的に行う。日本語学校をはじめ、区多文化共生連絡会の会員、多文化共生の事業に協力をいただいている団体・個人への参加の声かけを積極的に行う。 ②スピンオフ企画を別途開催する	

【実施した取組み内容】	
①定例ビブリオバトルの開催	
(ア) 令和3年度「第7回ビブリオバトル・インターナショナル・オオクボ・オンライン・ナイター」(11月)	10月開催予定だったが、会場がコロナのワクチン接種会場となったため、急ぎょオンラインでの開催となった。あわせて内容が全面的に変更となる。初めてのオンライン開催だったが、トラブルもなく、無事に盛況で終えた。本を紹介する人は、外国人が3名、日本人が2名。観覧者は20名。
(イ) 令和4年度「第8回ビブリオバトル・インターナショナル・オオクボ」(10月)	対面とオンラインのハイブリッドで開催。お盆明けから広報・宣伝を開始。本を紹介する人は、外国人が3名、日本人が3名。観覧者は20名、うちオンラインが5名。オンラインではフィンランドからの参加があった。 終了後、参加者同士の歓談会を実施。「第2回モノトーク・インターナショナル・オオクボ」を予告。
②スピンオフ企画の開催	
(ア) 令和3年度「第1回モノトーク・インターナショナル・オオクボ」(1月)	ビブリオバトルは思い入れのある「本」を語り合うが、「本」を「物」にかえて、モノ(物)をトーク(語る)しあう内容で、日本人と外国人との交流を目指す。 令和2年2月に立案したがコロナ禍のため実現せず。その間、準備を進め、令和3年11月のビブリオバトルの終了時に予告。ビブリオバトルの人脈から広報・宣伝した。 モノを紹介する人は、日本人が3名、外国人は1名。観覧者は15名。
(イ) 令和4年度「第2回モノトーク・インターナショナル・オオクボ」(1月)	12月中旬から広報・宣伝を開始。周知徹底。 モノを紹介する人は、日本人が2名、外国人は3名。そのうち日本人の1名は聴覚障がい者の方だったため、手話通訳者を手配した。観覧者は8名。終了後は、参加者同士の歓談会を実施した。

指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
本を紹介する人	5	6	6
観覧者	20	20	30
モノを紹介する人	4	5	5
観覧者	15	8	30

次年度に向けた改善点

ビブリオバトルは例年10月末に開催しており、ハロウィンの時期と重なることから、次回は「ビブリオバトル・インターナショナル・オオクボ・イン・ハロウィン」として、本の内容に沿った仮装での本の紹介者を募る。早い段階から、幅広く外国人と日本人に広報・宣伝を開始し、この流れをモノトークにつなげる。

大久保図書館重点事業報告シート

重点事業名	17 読書環境の充実 8 外国人に対する支援
【事業内容】 多様な言語でのおはなし会を積極的に実施し、「国際理解」を推進していきます。	
【取り組み内容】 ①広報・宣伝活動図書館を利用される方々への参加への声かけを積極的に行う。 ②関係団体・機関、NPO、フリーランスの協力者等と連携をはかり、言語・内容を検討し、開催する。	

【実施した取り組み内容】

①多言語おはなし会の開催	
読み聞かせを通して、文化の紹介、相互理解を推進する。	
(7) 令和3年度	「帰ってきたアラブのヤシの木」(7月展示のみ：参加者20名) 例年7月に、アラビア語の絵本の読み聞かせをはじめ、エジプトの工芸品の展示、アラブの民族衣装の試着等を行い、アラブの文化にふれるという趣旨で開催してきたが、コロナのため中止していた。 2年ぶりに展示のみで開催。参加者は、初日11名。2日目は9名。 「中東3言語おはなし会」(9月：参加者19名) アラビア語、ペルシャ語のおはなし会は、過去実施ができていたが、これにトルコ語が加わり、中東主要3言語によるおはなし会が実現可能になったが、コロナのため、各言語圏での特色ある展示に内容を変更した。子ども以外に、関心のある大人も参加が多数あった。
(4) 令和4年度	「アラブのヤシの木～桃栗3年ヤシ8年」(7月：参加者21名) 8年目を迎え展示及びおはなし会の形に戻した。おはなし会は2日間開催。 アラブ関係の日用品、工芸品等の展示もおこない、「文化交流」「相互理解」を促進。なお、ブルキナファソの方が3名参加をされた。 「トルコ語・ペルシャ語・アラビア語の世界」(9月：参加者20名) 前年度に実施した時に、関心を持った大人の方の参加が多かったことを鑑み、標記にタイトルを変更。 感染対策を考慮して、100人収容の会場で、3言語の読み聞かせと文化を紹介する展示を開催。関心のある大人の参加が多数あり。イラクの青年が1名参加をされた。
②他団体協力によるおはなし会	
地元のNPO、個人、様々な団体等の協力により、以下の言語で、月1回のペースでおはなし会を再開。 開催言語：ミャンマー語、タイ語、タガログ語、アムハラ語、スウェーデン語、スペイン語、チェコ語、英語、中国語、韓国語（うち英中韓は大久保図書館職員による）。	

指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
参加人数（アラブ）	20	21	30
（中東3言語）	19	20	30
（その他言語）	64	135	200

次年度に向けた改善点

協力者、団体の輪を広げ、言語のレパートリーを拡大し、更に広報・宣伝を活発にしていく。参加者同士の輪を広げるとともに、ビブリオバトルなど、日本人と外国人が交流できるイベントへの参加にも、可能であればつなげていく。

大久保図書館重点事業報告シート

重点事業名	12 魅力あるイベントの実施		
【事業内容】 「新宿学講座」や「朗読コンサート」など、魅力的なイベントを開催します。			
【取り組み内容】 ①企画・内容の検討 ②広報・宣伝活動 関係団体・機関、NPO、フリーランスの協力者等と連携し、参加への声かけを積極的に行う。			
【実施した取り組み内容】 令和3年度はイベントの開催時期を決定することが難しく、100人規模の集客が見込まれる事業は令和3年度、4年度とも開催困難と判断し、中止した。 企画・開催したイベントについては下記のとおり。			
①新宿学講座 (ア)令和3年度「新宿学講座 漱石に学ぶ 良い師、良い友とは」(参加者6名) 夏目漱石に精通している、富田綱一郎氏を講師として招き、様々な文献・資料を基に、漱石の師弟関係や友人関係に焦点をあてた講座を開催。普通の文学論とは一線を画した漱石の魅力を伝える内容となった。			
(イ)令和4年度「新宿学講座 もっと深掘り 漱石『吾輩は猫である』」(参加者16名) 前回、好評だった富田綱一郎氏を、再度講師として招き、一般的な『吾輩は猫である』の講義の枠を超えて、講師独特のユニークな視点から、『吾輩は猫である』を様々な角度から語っていただいた。中国の方が1名参加をされた。			
②令和4年度「大久保落語の集い 三遊亭好青年見参！」 (参加者26名) スウェーデン出身の落語家を招いて、落語の集いを開催。関心が高かったこともあり、問い合わせが多かった。小嘶はもちろんのこと、スウェーデンと日本との文化の違いをおもしろおかしく語り、笑いが止まらなかった。中国の方が1名参加をされた。			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
参加人数(新宿学)	6	16	30
(落語)	—	26	50
次年度に向けた改善点 令和5年5月に定員20人規模のアイルランド音楽のコンサートを開催する。 今後も落語をはじめ、魅力的で斬新な内容のイベントを、予算を鑑みながら、協力者・団体との連携により、開催を実現し、更に広報・宣伝も活発に行っていく。			

下落合図書館重点事業報告シート

重点事業名	21 絵本でふれあう子育て支援 17 読書環境の充実		
【事業内容】 「親子でリフレッシュ体操！」などの子育て支援事業を実施し、親子の絆づくりを応援します。			
【取組み内容】			
①子育て支援講座の開催 ②講師による親子向け紙芝居の実施と図書館司書による乳児向け絵本の選び方等の紹介。 ③会場内にてわらべうた遊びや赤ちゃん体操についての資料展示を行う。			
【実施した取組み内容】			
①子育て支援講座（年1回開催：令和3年度のみ2回開催） 親子のコミュニケーションを大切にしたいベビーマッサージとわらべうた遊び、お母さんの簡単なストレッチを行う。 講師が月齢や首のすわり具合などを確認し、発達段階に応じた適切な参加の仕方を促した。 特に好評だったのは、バスタオルで子どもを包み、講師と保護者がバスタオルをハンモックのようにしてゆらゆらさせる遊びだった。保護者に好評だったことはもちろん、子どもたちも初めての感覚だったのか声を上げて笑う様子や、驚いて目を丸くする姿が見られた。 アンケートでも「夫と二人で簡単にできるので良かった」「家でも取り入れやすいので良かった」などの感想をいただき、親子の時間をより充実したものにする事ができた。			
②親子向け紙芝居や乳幼児絵本の選び方等の紹介 講師と連携し、図書館で行う利点のひとつとして、数年前から実施内容の一部に組み込んでいる。 身体を動かした後、クールダウンの要素も兼ねて、対面でゆっくりと紙芝居の読み聞かせや、絵本の紹介を行った。保護者や子ども同士が落ち着いて顔を合わせるタイミングでもあり、交流の場として機能している。			
③関連資料展示 イベント時に関連する本などを手に取れるように並べている。（登録はしていないため冊数は不明） ほとんどの方が会場内に展示してある資料に興味を持ち、そのまま貸出に繋がった。			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
開催回数	2	1	2
参加人数	16	8	20
次年度に向けた改善点 アンケートでも満足度が非常に高いため、開催数を維持しながら、内容を充実させていく。 例えばクールダウンを兼ねて情報交換の時間をさらに多く取ることで、乳児期ならではの悩みを抱える子育て世代の支援の場所を提供でき、充実度が増すと考えられる。 ただし、乳児の集中力や食事、排泄のタイミングなど個々の事情があると思うので自由度の高い、参加しやすいプログラムを目指す。			

下落合図書館重点事業報告シート

重点事業名	8 高齢者に対する支援 6 区民の課題解決支援
【事業内容】 区の関連施設などと積極的に連携し、地域ぐるみの「介護・高齢者支援」を展開します。	
【取り組み内容】 ①高齢者総合相談センターによる認知症サポーター養成講座講の開催 ②スタッフ研修の実施 ③図書館による支援活動	

【実施した取り組み内容】 ①認知症サポーター養成講座講の開催（令和3年度は感染症拡大防止のため中止） 新宿区落合第一高齢者総合相談センターと協力し、認知症関連講座担当者による講演を実施した。 相談センターの講師が用意した資料とスライドを見ながら、認知症に対する理解を深めて頂いた。 イベントは「とても良かった」と好評で、アンケートでも「家族が認知症と診断されたため参加した」「自身も高齢で興味があった」など、身近な問題として取り組む様子が伺えた。 参加者には、高齢者総合相談センターが配布している無料のサポーターカードを配布した。 一般参加者10名、図書館スタッフ5名の計15名が参加。	
②スタッフ研修の実施 新宿区に勤務する図書館スタッフにも認知症の理解を深めてもらうため、認知症サポーター養成講座を未受講のスタッフに参加を促した。参加者は自館スタッフのほか、区内他館勤務（戸山・角筈）のスタッフも含む。 図書館スタッフには来館者に認知症サポーター養成講座受講済を周知する目的で、サポーターの証であるオレンジリングを配布した。	
③図書館による支援活動 ア 利用者への周知 イベントポスター・チラシを作成し、来館者へ認知症サポーターの周知を行った。 イ 展示協力 高齢者総合相談センターより高齢者支援に関連した多様なチラシを預かり、介護高齢者コーナーに設置・配布している。 新宿区の高齢者支援に関する情報をはじめ、総合相談センターの案内も設置して相互連携を強めている。 また、9～11月の定例展示「からだにいいことはじめよう」では、新宿区健康づくり課と連携し、チラシやポスターなどの設置・配布を行った。	

指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
参加人数	—	15	15
展示貸出回数	262	308	320

次年度に向けた改善点

落合第一高齢者総合相談センターとの連携を強化していくと共に、地域の高齢者支援のための情報の発信を継続的に行う。

また、展示企画でも介護者や高齢者の要望に応えられる内容を充実させていきたい。

下落合図書館重点事業報告シート

重点事業名	2 地域資料の充実 12 魅力あるイベントの実施
【事業内容】 特別展示やイベントを通じて、幅広い世代に新宿ゆかりの作家・夏目漱石の魅力を発信します。	
【取組み内容】 ①夏目漱石をはじめとする新宿区ゆかりの作家・文化人についての別置コーナーを設置 ②戸山・角筈・下落合図書館連携企画展示の実施 ③まち歩きイベント『戸山・角筈・下落合図書館連携企画「漱石さんぽ」』の実施	

【実施した取組み内容】

①新宿区ゆかりの作家・文化人についての別置コーナーの設置 夏目漱石を中心に、尾崎翠、林芙美子、舟橋聖一、吉屋信子、その他新宿ゆかりの文化人についての資料を積極収集し、別置コーナーを設置した。 当コーナーでは新宿区立漱石山房記念館の発行する情報誌や、近隣の文化施設についてのマップなどを掲示し、広く紹介した。
②戸山・角筈・下落合図書館連携企画展示の実施 令和元年度より夏目漱石に関する企画展示を継続して実施している。 戸山・角筈図書館と連携して同時期に行い、それぞれの図書館で作成したブックリスト・パスファインダーを共有し、各館の展示コーナーにて配布を行った。 また、作家に関心を持ってもらうため、オリジナルスタンプを作成して押印するコーナーを設置した。 令和3年度「漱石vs近代科学（モダン・サイエンス）」 令和4年度「漱石が見たロンドン」
③「漱石さんぽ」の実施 令和元年度より夏目漱石に関するまち歩きイベント「漱石さんぽ」を継続して実施している。 戸山・角筈図書館と連携して企画し、コース設定や解説など図書館員が調査研究して行った。各年度において、様々な切り口から漱石の魅力を紹介できるようにツアーテーマを設定している。 令和3年度「漱石さんぽ 第三弾 俳人・漱石が生きた街を歩こう！」 令和4年度「漱石さんぽ 第四弾 お墓でめぐる漱石交遊録」

指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
関連資料受入数	10	9	10
企画展示貸出数	118	220	230
イベント参加人数	12	15	15

次年度に向けた改善点

企画展示については、貸出数や回転率、制作物の配布数など高水準で推移している。今後は資料選定の精査や情報制作物のさらなる質的発展を目指す。

イベントについては、次年度以降も漱石研究を積極的に行い、作家人物像に対する新しい提案を行う。

中央・こども図書館全館取組み事業報告シート

(1) 夏目漱石関連事業			
【事業内容】			
①100年本で読む漱石の時代 ②漱石山房記念館連携朗読会 ③漱石関連資料収集、図書展示、POP作成			
【取組み内容】			
①漱石等関連古書 夏目漱石や漱石山房に集う漱石の弟子の作家の古書等を収集する。(中央) ②漱石山房記念館連携朗読会の実施(中央) ③漱石関連資料収集及び図書展示(中央) 図書展示「新宿ゆかりの作家と作品」を実施(こども)			
【実施した取組み内容】			
②令和3年度はコロナ感染拡大予防のため朗読を録音しyoutubeで公開配信し、令和4年度は実演と録音公開配信で実施した。(中央) ③夏目漱石コレクションとして古書等を含め収集。館内展示ケースで一部を常設展示している。(中央) 漱石の著作や関連資料を中心に明治～昭和の新宿ゆかりの人物の図書展示を実施した。(こども)			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
古書等資料収集数	9	4	5
朗読会アクセス数	671	604	725
朗読会参加人数	—	21	30
次年度に向けた改善点 配信向けの作品選びが難しい。対面ならではの良さもあるため、今後も配信・対面の実施方法を検討する。 展示の入替頻度等活用方法の検討(中央)や、子どもたちの興味を引く展示方法(こども)について引き続き検討が必要である。			

四谷図書館全館取組み事業報告シート

(1) 夏目漱石関連事業			
【事業内容】			
「新宿学講座」として区民に夏目漱石の作品の魅力を伝える。			
【取組み内容】			
新宿学講座「漱石詞華集(アンソロジー)」			
【実施した取組み内容】			
文芸文化教育研究家の富田鋼一郎氏を講師として招き、俳句の表現を取り入れた漱石の文章について分かりやすく解説していただいた。			
令和3年度は天井工事で休館(2021/12/15～2022/7/15)していたため、12月に展示をできなかった。			
令和4年度は12/9～1/10の間に夏目漱石展「漱石、アレ?これ!」として実施した。夏目漱石関連の書籍が出版された場合は、収集方針の範囲で所蔵するようにしている。			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
朗読会アクセス数	23	10	20
資料収集数	339	354	370
資料展示	95	25	100
次年度に向けた改善点 令和4年度は夏目漱石の文章の表現を題材に、レベルの高い内容を提供できたので、今後も利用者の要望に応える内容を講師と相談しながら実施していく。			

鶴巻図書館全館取組み事業報告シート

(1) 夏目漱石関連事業			
【事業内容】			
①夏目漱石常設展示コーナーの開設と資料収集 ②漱石山房記念館と連携しての朗読会開催 ③研修を通じて夏目漱石への理解を深める ④漱石関連講座の開催			
【取組み内容】			
①常設コーナーを設置し、関連する資料を収集する。 ②漱石山房記念館と共催で、「大人のための朗読会」を実施 ③漱石山房記念館館長を講師役に、漱石作品の解説をしてもらう研修を実施 ④漱石山房記念館と連携して年1回実施。			
【実施した取組み内容】			
①マークをつけて、夏目漱石と、関連する人物の資料を見分けられるようにしている。 ②大人のための朗読会 令和4年度「漱石とその時代 貧困、借金、病魔 そして芸術…」令和3年度は未実施。 ③令和3年度研修テーマは「夏目漱石と新宿」(協力：漱石山房)、令和4年度は未実施。 ④「漱石と新宿」(講師:漱石山房館長)、「ああ漱石山房～門下生の思いをたどる～」(講師：漱石山房学芸員) 令和4年度は未実施。			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
資料収集数	54	36	60
資料展示	630	822	850
朗読会参加者	未実施	36	50
研修参加者	16	未実施	20
講座参加者	21	未実施	25
次年度に向けた改善点			
「大人のための朗読会」は一定の参加者が見込まれるため、漱石山房と協議し、会場の座席配置の工夫などでより多くの方に聴いていただけるようにしたい。目の不自由な方向けのパンフレットを充実させたい。 漱石の関連講座は参加者は多くはないが、漱石に強い関心を持つ人はいるので、漱石山房以外にも目を向け講師を探す。			

西落合図書館全館取組み事業報告シート

(1) 夏目漱石関連事業			
【事業内容】			
「ミステリークエスト～夏目漱石からの挑戦状～」(漱石山房記念館と連携)			
【取組み内容】			
漱石山房記念館と連携して、謎解きイベント「ミステリークエスト～夏目漱石からの挑戦状～」を実施。両館を訪れることによって解ける問題を作成配布し、来館者数増加をはかった。			
【実施した取組み内容】			
詳細は重点事業報告シートを参照。 開催期間 令和3年度：令和3年12月5日（日）～令和4年1月10日（月・祝） 令和4年度：令和4年7月22日（金）～令和4年8月24日（水）			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
参加者数	178	356	390
次年度に向けた改善点			
令和4年度は夏目漱石の文章の表現を題材に、レベルの高い内容を提供できたので、今後も利用者の要望に応える内容を講師と相談しながら実施していく。			

戸山図書館全館取組み事業報告シート

(1) 夏目漱石関連事業			
【事業内容】			
①関連資料収集・常設展示 ②企画展示 ③関連イベント			
【取組み内容】			
①夏目漱石に関連した資料の収集、漱石関連資料を展示した常設展示を実施（一般書架・児童書架の2か所）			
②下落合・角筈図書館と連携した企画展示の実施			
③下落合・角筈図書館と共同で「漱石さんぽ」を実施			
【実施した取組み内容】			
①一般書架の常設漱石展示にて、毎月漱石やその関係者にまつわるコラム「今月の漱石」を掲示した。			
②下落合・角筈図書館と連携し、独自のテーマ設定による展示を実施。パスファインダーを相互に配布した。			
③図書館員の解説付きで漱石ゆかりの場所を巡る街歩きイベントを実施した。			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
常設展示貸出総数	355	277	300
企画展示貸出数	164	192	200
漱石さんぽ参加者数	12	15	現状維持
次年度に向けた改善点 重点目標に掲載			

北新宿図書館全館取組み事業報告シート

(1) 夏目漱石関連事業			
【事業内容】			
①夏目漱石作品を特集する朗読会の実施			
②関連資料展示の実施			
【取組み内容】			
①夏目漱石の誕生日である2月9日に合わせた朗読会の実施			
②朗読会に合わせた資料展示の実施			
【実施した取組み内容】			
①新宿区歴史博物館ボランティアガイド朗読の会「ふみのしおり」と協働で年1回朗読会を実施した。合間にピアノ演奏や作品に合わせた絵画の展示を行うなど内容を工夫した。			
②令和3年度「夏目漱石」（夏目漱石に関する資料全般の展示）、令和4年度「漱石探訪」（夏目漱石の門下生の資料を合わせた展示）を行った。			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
朗読会参加人数	7	12	15
資料展示数	90	68	80
展示資料貸出冊数	17	39	50
次年度に向けた改善点 朗読会は、アンケートでも好評のため引き続き実施する。参加人数を増やすため、周知方法を再検討する。 資料展示はテーマを絞って展示をすることで貸出につながりやすい傾向が見られた。展示テーマを先行して決定し、並行して資料収集も行うことで貸出冊数の増加を目指す。			

中町図書館全館取組み事業報告シート

(1) 夏目漱石関連事業			
【事業内容】			
①「本のまち散歩 漱石の文字を味わう～市谷の杜 本と活字館×中町図書館～」 ②古書展示「『學燈』に見る漱石」 ③「夜の図書館 大人のためのおはなし会」			
【取組み内容】			
①活版印刷の展示を漱石の原稿で行っている地域の博物館との連携事業 ②丸善雄松堂(株) が所蔵している漱石の初期の作品等の展示。 ③夏目漱石作品の朗読会。			
【実施した取組み内容】			
①漱石の原稿を活版で作る作業などを見学し、活版印刷も体験する。 ②丸善出版の『學燈』の現物や、漱石の直筆原稿、愛用の万年筆など関連作品の展示。 ③『夢十夜』を中心に不思議な話をテーマにプログラムを組み、閉館後の図書館で物語の世界を楽しむ大人のためのおはなし会を実施。			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
参加者数	10	6	12
資料展示	19	未実施	20
貸出数	42	未実施	現状維持
次年度に向けた改善点 漱石の魅力を発信できるイベントを様々な方法で利用者に提供し、新たな魅力を発見できるような内容の取り組みを目指す。次年度はまち歩きを計画。			

角筈図書館全館取組み事業報告シート

(1) 夏目漱石関連事業			
【事業内容】			
①新宿区立戸山・角筈・下落合図書館連携企画行事「漱石さんぽ」 ②漱石関連図書展示、リーフレット作成			
【取組み内容】			
①戸山・角筈・下落合図書館連携企画「漱石さんぽ」の実施 ②漱石関連資料収集・図書展示（戸山・角筈・下落合連携企画）、及びリーフレットの作成。			
【実施した取組み内容】			
①「広報新宿」にて参加者を募集。戸山図書館スタッフによる解説のもと、まち歩きイベントを行った。 令和3年度「漱石さんぽ 第三弾 俳人・漱石が生きた街を歩こう！」 令和4年度「漱石さんぽ 第四弾 お墓でめぐる漱石交遊録」 ②毎年共通のテーマで関連資料を展示。目録を含むリーフレットを3館で相互配布した。 令和3年度「漱石vs近代科学（モダン・サイエンス）」 令和4年度「漱石が見たロンドン」			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
漱石さんぽ参加者数	12	15	15
展示数	60	68	70
貸出数	55	76	90
次年度に向けた改善点 新たなテーマや、より漱石について深く掘り下げる要素を吟味し、戸山・下落合図書館と緊密な協力の上、一層ご満足いただけるような企画を行う。 展示資料について、多くの方が興味関心をひくものを吟味するとともに、展示内容を充実させ、貸出率の向上を目指す。			

大久保図書館全館取組み事業報告シート

(1) 夏目漱石関連事業			
【事業内容】 特別展示「Around the World ～Soseki Natsume展」の実施			
【取組み内容】 多国籍タウンである地域性を生かし、国際交流基金ライブラリーのご協力をいただき、様々な言語で翻訳された夏目漱石の作品を50点（23か国語）借用し、展示を行う。 漱石文学が、世界各国でも読まれているということを再確認するとともに、外国人利用者へも情報を発信する場としていく。			
【実施した取組み内容】 「Japanese "Kokoro" Soseki Natsume 展」（令和3年10月15日～12月8日開催） 「Japanese "Great Writer" Soseki Natsume 展」（令和4年10月14日～12月7日開催）			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
見学者数	126	205	250
次年度に向けた改善点 漱石山房記念館のご協力もいただき、HPへの掲載、チラシの配布等を行った。引き続き、連携・協力を強くして、広報・宣伝を活発に行う。 なお、重点事業として「新宿学講座」でも漱石に関連する講座を開催した。このように積極的に機会を設け、展示以外の企画にも取り組む。			

下落合図書館全館取組み事業報告シート

(1) 夏目漱石関連事業			
【事業内容】 ①夏目漱石に関する資料展示・ブックレット作成・POP作成 ②夏目漱石に関するイベント企画			
【取組み内容】 ①戸山・角筈・下落合図書館連携企画展示の実施 ②まち歩きイベント『戸山・角筈・下落合図書館連携企画「漱石さんぽ」』の実施			
【実施した取組み内容】 ①企画展示において、夏目漱石の作品と作者を理解するための資料を紹介した。また、新宿の文豪・漱石に関心を持ってもらえるように、ブックレットの作成・配布、POPの作成、オリジナルスタンプの作成を行った。 ②夏目漱石の作品とその背景について研究し、まち歩きイベント「漱石さんぽ」を企画、継続実施した。			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
企画展示貸出回数	118	220	230
イベント参加人数	12	15	15
ブックリスト配布数	60	140	150
次年度に向けた改善点 企画展示の貸出数や回転率、制作物の配布数など高水準で推移している。今後は資料選定の精査や情報制作物のさらなる質的発展を目指す。 イベントについては、毎年度テーマを設定し、様々な切り口から漱石の魅力を紹介できるように企画を行っている。次年度も同様に漱石研究を積極的に行い、人物像に対する新しい提案を行っている。			

中央・こども図書館全館取組み事業報告シート

(2) 東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業			
【事業内容】 東京2020オリンピック・パラリンピック特別展示			
【取組み内容】 関連資料の収集・展示			
【実施した取組み内容】 2階書架に特別展示コーナーを常設し、東京2020オリンピック・パラリンピックに関連する7類の資料を中心に展示した。(中央)			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
収集冊数(中央)	58	—	事業終了
次年度に向けた改善点 2022年3月末をもって特別展示は終了。展示していた資料は再整理し、一般書架または閉架書庫へ移した。(資料係) 「第五次新宿区子ども読書活動推進計画」期間中は常設展示を継続する。(こども)			

四谷図書館全館取組み事業報告シート

(2) 東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業			
【事業内容】 東京2020オリンピック・パラリンピックの実施に合わせて展示を行い行事への興味を啓発する。			
【取組み内容】 スポーツ関連の図書を集めて展示することにより、東京2020オリンピック・パラリンピックへの興味を向ける事で相乗効果を狙う。			
【実施した取組み内容】 R3年度はオリンピック開催に合わせ、6/11～9/8に「スポーツの季節」として展示を実施した。貸出には結びつかなかったが、利用者の館内閲覧が見られた。			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
展示数	22	—	事業終了
貸出数	1	—	事業終了
次年度に向けた改善点 オリンピック・パラリンピックが実施されていない時期は、関連資料については書架に戻したが。今後もスポーツなどのテーマで展示していく。			

鶴巻図書館全館取組み事業報告シート

(2) 東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業			
【事業内容】 東京2020オリンピック・パラリンピック特別展示			
【取組み内容】 関連資料の収集・展示			
【実施した取組み内容】 1階書架に特別展示コーナーを常設し(令和3年度総展示日数292日)、オリンピック・パラリンピックに関連する資料を展示した。			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
展示資料数	79	—	事業終了
次年度に向けた改善点 2022年3月で特別展示は終了した。空いたスペースは、夏目漱石関連の展示に置き換えた。			

西落合図書館全館取組み事業報告シート

(2) 東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業			
【事業内容】 ①東京2020オリンピック・パラリンピック特別展示 ②パスファインダーの作成(「オリンピックの調べ方」)			
【取組み内容】 ①関連資料の収集・展示 ②パスファインダーの作成、情報更新、配布			
【実施した取組み内容】 ①児童書架に特別展示コーナーを常設し、東京2020オリンピック・パラリンピックに関連する7類の資料を中心に展示した。 ②令和2年に作成した「パスファインダー～オリンピックの調べ方～」の情報を更新し、掲出配布した。			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
展示数	75	—	事業終了
次年度に向けた改善点 2022年3月末をもって特別展示は終了した。展示していた資料は再整理し、児童書架へ移した。 東京オリンピックは終了したが、次回オリンピックに向けてのパスファインダーの情報更新を行う。			

戸山図書館全館取組み事業報告シート

(2) 東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業			
【事業内容】 資料展示			
【取組み内容】 児童展示「調べて金メダル！五輪マスターになろう！」を実施（令和3年4月～9月）			
【実施した取組み内容】 東京オリンピック・パラリンピックの実施期間が1年延長したことを受けて、令和2年度に実施していたオリパラ資料展示を令和3年9月まで延長し実施した。			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
児童展示貸出数	84	—	事業終了
次年度に向けた改善点 東京オリンピック・パラリンピックの終了に伴い、資料展示は終了したが、今後も定期的にオリンピック・パラリンピックに関連した資料は収集していく。特に障害者スポーツに着目し、折にふれ企画展示の実施や体験機会を提供していく。			

北新宿図書館全館取組み事業報告シート

(2) 東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業			
【事業内容】 東京2020オリンピック・パラリンピック特別展示の実施			
【取組み内容】 関連資料の収集と展示の実施			
【実施した取組み内容】 「開催へ願いを込めて！『東京オリンピック・パラリンピック 2020』」と題してオリンピックの歴史から競技に関する資料などを幅広く収集し展示した。展示期間終了後もオリンピック関連資料には目印となるシールを貼付して書架に配架し、探しやすいようにした。			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
展示資料冊数	71	—	事業終了
展示資料貸出冊数	27	—	事業終了
次年度に向けた改善点 関連資料への目印の貼付は令和4年に終了したが、今後は「オリンピック振り返り展示」などの実施を検討し、利用の促進を図る。			

中町図書館全館取組み事業報告シート

(2) 東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業			
【事業内容】 オリンピック開催を意識して、スポーツに関するテーマ展示を実施			
【取組み内容】 「スポーツを楽しむ」一般・児童合同 (R3年度 7/1~7/14) 「冬のスポーツ」児童(R4年度 2/5~2/20) 「北京オリンピック」一般(R4年度 2/5~2/20)のテーマ展示を実施			
【実施した取組み内容】 「スポーツを楽しむ」(一般・児童合同)は、オリンピックの開催後、スポーツ全般に対する興味やスポーツの楽しさを追認できるような展示を実施。 また、令和3年度は冬のオリンピックの開催年だったので、開催に合わせてオリンピック種目に関して「冬のスポーツ」(児童)、「北京オリンピック」(一般)のテーマ展示を実施。			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
展示冊数	129	—	事業終了
貸出数	84	—	事業終了
次年度に向けた改善点 オリンピックの開催に合わせて購入した資料は、今後のスポーツイベントに合わせて展示などに活用していく。			

角筈図書館全館取組み事業報告シート

(2) 東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業			
【事業内容】 東京2020オリンピック・パラリンピック特別展示の実施			
【取組み内容】 関連資料の収集及び展示			
【実施した取組み内容】 ひと月ごとにテーマを決めて行っている児童の季節展示コーナーにて、東京2020オリンピック・パラリンピックに関連する展示を行った。スポーツ関係の資料を中心に読み物や絵本も集めて展示した。			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
展示数	96	—	事業終了
貸出数	150	—	事業終了
次年度に向けた改善点 東京2020オリンピック・パラリンピックが終わり、集めた資料を今後どう展開していくか魅力的な展示企画を実施し、貸出数の増加を目指す。			

大久保図書館全館取組み事業報告シート

(2) 東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業			
【事業内容】 東京2020オリンピック・パラリンピックの開催時期に合わせて、関連展示を実施する。			
【取組み内容】 オリンピック、スポーツに関する資料を展示し、スポーツを通じて「平和・文化・教育」を基盤にした人間の交流に視点を置く内容とする。			
【実施した取組み内容】 ミニ展示 「2021年 オリンピック特集」(令和3年2月13日～3月10日開催) 「スポーツ！限界に挑む人間たち」(令和3年7月14日～8月10日開催)			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
展示冊数	49	—	事業終了
貸出冊数	25	—	事業終了
次年度に向けた改善点 オリンピック終了と同時に、展示を終了する。令和2年度は、オリンピックが延期になった情勢を考慮して、ミニ展示で対応した。			

下落合図書館全館取組み事業報告シート

(2) 東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業			
【事業内容】 展示コーナーを活用し、様々な資料展示を行う。			
【取組み内容】 ①オリンピック関連資料の展示。 ②令和4年1月よりSDGsに関する資料の展示。 ③地域協力応援展示としてクリアソン新宿の選手やサッカーについての資料を展示。			
【実施した取組み内容】 ①オリンピック関連展示「+1の夢」(令和3年度事業) ②SDGs展示企画「SDGsってなんだろう？」 ③地域協力応援展示「新宿区サッカークラブチーム Criacao Shinjuku(クリアソン新宿)」を開催。サッカー資料ほか、所属選手が子供のころに読んでいた本を紹介し展示した。			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
オリンピック関連	155	—	事業終了
SDGs展示	51	236	250
地域協力応援展示	223	185	200
次年度に向けた改善点 「国際協力」や「スポーツ」などの要素を引き継ぎ、SDGsの企画展示とクリアソン新宿の企画展示を継続して展開していきたい。SDGsについてはブックリストを作成して、来館者に探しやすい環境を整え資料を提供する。クリアソン新宿についても、地元地域の応援団として紹介していく。			

中央・こども図書館全館取組み事業報告シート

(3) 区の各部署との連携事業			
【事業内容】			
①自殺防止月間における連携展示（中央） ②絵本でふれあう子育て支援事業（こども）			
【取組み内容】			
①関連図書等資料展示（中央） ②乳幼児健康診査等（0歳児・3歳児）に来た親子を対象に、地域ボランティアによる読み聞かせと絵本の配付を行うとともに、家庭読書の意義を伝えたり、図書館の利用促進につなげる。（こども）			
【実施した取組み内容】			
①「こころと身体の健康」の資料展示及び健康部のパンフレット配布。（中央） ②新型コロナウイルス感染症の影響により保健センターでの読み聞かせは中止。家庭読書の意義については保健センターにポスター掲示をして啓発に努めた。また、令和5年3月より保健センタで実施していた内容をこども図書館で代替実施を開始した。（こども）			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
展示図書館資料貸出数	221	137	230
次年度に向けた改善点			
展示資料は興味関心をひくものを吟味するとともに、展示内容を充実させ貸出数の向上を目指す。（中央） 令和5年度はこども図書館で代替え実施することを広く周知し、読み聞かせの普及と家庭読書の推進を図る。（こども）			

四谷図書館全館取組み事業報告シート

(3) 区の各部署との連携事業			
【事業内容】			
認知症サポーター養成講座			
【取組み内容】			
四谷高齢者相談センターの職員を招き、認知症の症状や発症の程度によって段階的に変化する対応方法を学ぶ。受講された方には、認知症サポーターのしるしである「オレンジリング」を配布する。			
【実施した取組み内容】			
2020年代になると「団塊の世代」が後期高齢者になるため、高齢化が一段と進む。四谷地区においても高齢者に対するサポートや見守りの体制作りが課題になってくる。当事者だけでなく、見守りを担う家族や地域の人を対象に「後期高齢化社会」の理解の一助になるような情報提供を行う。 令和3年度は天井工事で休館（2021/12/15～2022/7/15）していたため、実施できなかった。			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
講座参加者数	未実施	14	20
講座開催数	未実施	1	2
次年度に向けた改善点			
参加者から回収したアンケートを参考にして、要望に応えるレベルの高い内容で開催し、参加者数増を目指す。			

鶴巻図書館全館取組み事業報告シート

(3) 区の各部署との連携事業			
【事業内容】			
①自殺対策及び健康づくりに関する普及啓発活動への協力 ②婦人科系疾病への啓発協力			
【取組み内容】			
①新宿区健康部保健衛生事業に基づき、自殺対策関連資料の展示を行う。 ②婦人科系疾病関連の展示			
【実施した取組み内容】			
①令和3年度「ちょっと、ひとやすみ」、令和4年度「モヤモヤしたら、ひとやすみ」をテーマにメンタルヘルスに関する資料などを展示。 ②令和4年度：乳がんや子宮がんなどの資料を集めた展示「知ることから始めよう」を実施。（令和3年度は未実施）			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
自殺対策展示資料数	65	48	70
婦人科疾病展示	未実施	33	40
次年度に向けた改善点 当館は月替わりで5カ所の展示をしており、展示回数が多いため、区の各部から要請のあるテーマについては、できるかぎり展示を実施している。今後、さらに充実させたい。			

西落合図書館全館取組み事業報告シート

(3) 区の各部署との連携事業			
【事業内容】			
①自殺対策強化月間における連携展示 ②区の部署に図書館の会議室を貸出			
【取組み内容】			
①自殺対策強化月間展示（健康部との連携） ②西落合図書館2階会議室貸出			
【実施した取組み内容】			
①展示内容と期間：令和3年度：「たった一人のあなたへ」令和3年9月1日（水）～9月30日（木）、令和4年度：「大切なあなたへ」令和4年9月1日（木）～9月30日（金） ②高齢者総合相談センター出張相談日（高齢者支援課との連携）、つくし教室（教育委員会事務局教育支援課との連携）のために会議室利用に協力した。			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
①貸出冊数	40	38	45
②会議室利用回数	45	45	現状維持
次年度に向けた改善点 コロナ禍で実施を見送った打ち水（環境対策課）など、区の各部署からの連携依頼には可能な限り協力していく。			

戸山図書館全館取組み事業報告シート

(3) 区の各部署との連携事業			
【事業内容】 ①平和事業 ②戸山生涯学習館まつりへの参加 ③四谷保健センターとの連携展示 ④新宿区社会福祉協議会との協力 ⑤新宿歴史博物館学芸員による講演会			
【取組み内容】 ①平和啓発活動の一環として資料展示、映画会、講演会を開催 ②資料展示・点字打ち体験会 ③女性の健康展示 ④社会福祉協議会の紹介によるボランティアの受け入れ、図書館見学 ⑤戸山歴史講座			
【実施した取組み内容】 ①資料展示「水を求める争い」映画会「アフガニスタン 干ばつの大地に用水路を拓く」講演会「水がもたらす世界の平和」 ②資料展示及び凸面点字器「トツテンくん」を使用した名刺作り体験会 ③令和4年度展示テーマ「乳がん」「ストレスマネジメントで自分を守る」(2回開催) ④新宿福祉作業所見学：17名参加 ⑤尾張藩徳川家下屋敷の歴史と基本を講義・解説する講演会「尾張藩徳川家下屋敷(戸山荘)の姿とその歴史」を実施。			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
自殺対策展示資料数	65	48	現状維持
自殺対策展示資料数	65	48	90
婦人科疾病展示	未実施	33	現状維持
次年度に向けた改善点 これまで実施していた平和事業や保健センターとの連携に加え、新しく新宿区歴史博物館と連携することができた。今後は様々な専門性を有する区の施設や部署と接触をはかり、協同することで事業の充実を目指す。			

北新宿図書館全館取組み事業報告シート

(3) 区の各部署との連携事業			
【事業内容】 ①他施設等の連携事業 ②区施策・各部署などとの連携			
【取組み内容】 ①区内他施設主催事業への参加、連携講座の開催 ②依頼等に基づく展示の実施			
【実施した取組み内容】 ①北新宿生涯学習館「北新宿生涯学習館まつり」リサイクル資料の提供、女性の健康支援センター「女性の健康づくり講座」等 詳細は重点事業報告シートを参照。 ②行政配布物を展示コーナーで配布			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
複合施設連携機関数	1	2	3
連携事業参加者数	16	46	50
関連施設連携開催数	1	3	5
次年度に向けた改善点 連携事業は地域図書館という身近な場所で生活に必要な情報収集ができるとして好評である。今後はより多くの区関連機関と連携し事業実施数を増やす。			

中町図書館全館取組み事業報告シート

(3) 区の各部署との連携事業			
【事業内容】 ①環境マネジメント（環境マネジメント事務局）の取組みとして利用者にも呼び掛ける内容の展示を実施 ②健康作り月間（健康づくり課）、乳がん月間（四谷保健センター）に「健康づくり」や「女性の健康」を総合的に取り上げた展示協力を実施			
【取組み内容】 ①展示「環境問題について考えよう」「地球のためにできること～ゴミ・プラスチック削減を目指して～」 ②展示「図書館で健康づくり」「知っておきたい女性のヘルスケア」			
【実施した取組み内容】 ①環境問題全般についての世界の現状、また、プラスチックごみの問題と使用量削減についての資料を展示 ②女性に特有のヘルスケアや病気についての本を展示			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
自殺対策展示資料数	65	48	100
自殺対策展示資料数	65	48	現状維持
婦人科疾病展示	未実施	33	現状維持
次年度に向けた改善点 利用者の高齢化も進んでいるので、健康に関する協力展示だけではなく講演なども開催して、利用者に広く届けられるような取り組みを目指したい。環境マネジメントに関する展示は継続して実施する。			

角筈図書館全館取組み事業報告シート

(3) 区の各部署との連携事業			
【事業内容】 関連図書等資料展示			
【取組み内容】 ①自殺防止月間にける連携展示 ②乳がん月間における「女性の健康」連携展示			
【実施した取組み内容】 ①毎年「ストレスからの解放宣言」展示として自殺対策、ストレス解消などに関する資料の展示及び健康部のパンフレットの配布により、9月の自殺防止月間の周知に努めた。 ②毎年「女性の健康」展示として乳がんや女性の病気に関する資料の展示及び保健センターのリーフレットやポスターを配布・掲示し、10月の乳がん月間の周知に努めた。			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
自殺防止 展示数	61	44	80
自殺防止 貸出数	122	56	70
女性の健康 展示数	43	45	45
女性の健康 貸出数	30	76	80
次年度に向けた改善点 展示資料について、テーマによる貸出数の増減に差があるため、より興味関心の幅を広げられるものを吟味するとともに、展示方法を工夫し貸出率の向上を目指す。			

大久保図書館全館取組み事業報告シート

(3) 区の各部署との連携事業			
【事業内容】 区主催行事である①「しんじゅく防災フェスタ」(毎年9月に開催)と②「大新宿区まつりふれあいフェスタ」(毎年10月)に参加をする。			
【取組み内容】 区多文化共生推進課としんじゅく多文化共生プラザとの連携により実施 ①外国人を対象に防災のブースを設置して、防災の資料の展示・紹介や外国語で絵本の読み聞かせを行う。 ②しんじゅく多文化共生プラザのブース内で、大久保図書館の多文化サービス取り組みを紹介する。			
【実施した取組み内容】 コロナ禍のため、令和3年度、令和4年度とも中止。定期的に開催される区多文化共生絵連絡会には、世話人として運営に携わり、連絡会には毎回出席。コロナ禍であるがゆえに、区をはじめ、他の団体とも連携を強化し、情報交換・共有をはかった。			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
防災フェスタ	中止	中止	50
ふれあいフェスタ	中止	中止	50
次年度に向けた改善点 開催が決定し、参加が可能になれば、内容を充実させて参加をし、例年以上の情報発信に取り組み、関係団体・協力団体との連携を強化していく。			

下落合図書館全館取組み事業報告シート

(3) 区の各部署との連携事業			
【事業内容】 区の各部署と連携し、資料展示やパンフレット等の配布を行う。			
【取組み内容】 ①連携企画展示の実施・情報パンフレットの配布 ②落合第一高齢者総合相談センターの講師による認知症に関する啓発事業の実施			
【実施した取組み内容】 ①展示及び資料配布 健康部「女性の健康に関する普及事業」および健康増進普及月間推進、乳がん、高齢者健康支援の企画展示を実施。あわせてパンフレットを配布した。 介護・高齢者支援コーナーに関連情報パンフレットを置いた。 防災月間に合わせ企画展示を実施。ハザードマップ等のパンフレットや防災ツールの配布を行った。 ②高齢者総合相談センターから講師を招き、「認知症サポーター講座」を開催し、情報提供を行った。			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
展示貸出総回数	374	308	380
連携展示回数	3	9	10
次年度に向けた改善点 新宿区の提供するサービスが、必要とする人々すべてに行き届くように、図書館で情報発信することを目指している。 特に、落合第一高齢者総合相談センターとの連携に力を入れ、介護・高齢者支援コーナーにおける情報パンフレットの提供と、セミナー企画、資料展示は継続して行っていく。			

中央・こども図書館全館取組み事業報告シート

(4) 図書館を応援する地域団体との協働事業			
【事業内容】			
①区内大学生等とのコラボ展示 ②大学図書館との連携サービス（大学図書館利用の紹介状の発行、協定大学図書館の利用手続き）			
【取組み内容】			
①区内大学生等とのコラボ展示（こども図書館が中高生と実施） ②大学図書館との連携サービス（大学図書館利用の紹介状の発行、協定大学図書館の利用手続き）			
【実施した取組み内容】			
①新型コロナウイルス感染拡大予防のためなし（中央） ②大学図書館との連携サービスで、大学図書館利用の紹介状の発行、協定大学図書館利用の手続きを行った。 （協定4館のうち2館は、新型コロナウイルス感染防止のためサービスを休止中）			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
大学生等とのコラボ展示	0	0	1
大学図書館紹介状の発行	0	6	現状維持
協定大学図書館利用手続き	2	5	現状維持
次年度に向けた改善点 コロナ感染症が落ち着いてきたため、今後は区内大学生等とのコラボ展示を検討する。（中央） 成人年齢の引き下げに伴い、利用要件を改定するか各大学と協議中。休止中2館の協定大学図書館の利用について、再開へ向けて調整を行う。			

四谷図書館全館取組み事業報告シート

(4) 図書館を応援する地域団体との協働事業			
【事業内容】			
暗記も辞書もいらない楽しい英語多読 「NPO多言語多読」の講師を招いて初心者向け・経験者向けの講演会&ワークショップ			
【取組み内容】			
英語多読を紹介することで、絵本を始めとする洋書の利用促進を進め、読書を通して外国の文化に広く親しみ、理解を深めるきっかけづくりをする。			
【実施した取組み内容】			
講演会とワークショップ形式での実践により、初心者向け・応用編ともに毎回大変喜ばれており、回を重ねるごとに大きな手ごたえを感じることができている。			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
参加者数(初心者向け)	19	26	50
参加者数(応用編)	15	13	50
次年度に向けた改善点 募集や参加者人数を増やすとともに、「初心者向け」を参加しやすい内容に、より充実させて今後の展開に繋げていく。			

鶴巻図書館全館取組み事業報告シート

(4) 図書館を応援する地域団体との協働事業			
【事業内容】			
①早稲田大学との連携			
②榎町地区町内会との連携			
【取組み内容】			
①早稲田大学学生サークルによるおはなし会開催			
②榎町地区町内会主宰の小学生による夏目漱石暗唱コンクールに審査員参加(館長)			
【実施した取組み内容】			
①早稲田大学の児童文学研究会によるおはなし会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和3年度は中止していたが、感染状況が落ち着いた令和4年11月から再開した。			
②暗唱コンクールは、榎町地区町内会が地域の小学校とタイアップして実施している行事。鶴巻図書館長は小学校長らとともに、審査員を依頼されており、授与式と併せ参加。			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
おはなし会回数	0	13	60
審査員参加回数	2	2	2
次年度に向けた改善点			
地域の団体との連携は、地域図書館の大切な役割の一つと認識しており、より積極的に協働を模索していきたい。おはなし会は、年間60回の開催を目指す。			

西落合図書館全館取組み事業報告シート

(4) 図書館を応援する地域団体との協働事業			
【事業内容】			
①親子講座			
②にしおち朗読会			
【取組み内容】			
①目白大学子ども学科の教員と学生による子ども向け行事の開催。			
②新宿歴史博物館ボランティアガイド朗読の会「ふみのしおり」による朗読会の開催。			
【実施した取組み内容】			
①令和3年度は中止。令和4年度：「あめのおともだち～工作と手遊び～」令和4年6月25日（土）、「つくっておどって！おにとおともだち！！Let'sオニオニ～」令和5年1月14日（土）			
②令和3年度：「～没後70年 林芙美子の世界～」令和3年11月28日（日）、令和4年度：「心なごむお話で秋のひとときを」令和4年10月23日（日）			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
①参加者数（人）	未実施	44	50
②参加者数（人）	6	15	15
次年度に向けた改善点			
人数制限を行っていたが、複数回開催するなど、希望する利用者が可能な限り参加できるよう工夫する。			
令和5年度は林芙美子生誕120周年のため、それにちなんだ朗読会を開催する。			

戸山図書館全館取組み事業報告シート

(4) 図書館を応援する地域団体との協働事業			
【事業内容】 ①国立国際医療研究センター病院と連携した講演会 ②小学校の図書館見学・中学生の職場体験 ③クリアソン新宿との連携展示・事業 ④戸山公園サービスセンターとの共同事業			
【取組み内容】 ①重点事業報告「医療セミナー」参照 ②図書館案内、職場体験の実施 ③「クリアソン新宿」の試合結果の掲示、現役選手による企画の実施 ④公園施設内での映画会、公園職員による戸山歴史探訪の実施、図書館だよりへのコラム執筆依頼			
【実施した取組み内容】 ①高齢者向け医療セミナーとして実施。 ②障害者サービスの説明に力点を置き多様性の理解につなげた。 ③地元サッカーチームの周知と地域住民同士が交流する場の提供を目的として開催。 ④映画会で図書館周辺以外の利用者層も図書館のコンテンツを楽しむ機会が提供できた。 ⑤公園内に設置された史跡柱を職員の解説付きで巡るイベントを実施。資料展示と連携した企画で参加者の注目度も高かった。			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
クリアソン新宿 協働企画参加者数	—	6	15
戸山歴史探訪参加者数	14	9	現状維持
次年度に向けた改善点 戸山公園やクリアソン新宿などの新しい地域団体との交流が増えたことで、これまでよりも充実した事業を展開することができた。今後はさらに地域との関わりを強化し、地域住民が集う場としての役割を担っていく。			

北新宿図書館全館取組み事業報告シート

(4) 図書館を応援する地域団体との協働事業			
【事業内容】 ①区内に所在する団体との協働事業の実施 ②区内で活動するボランティア団体や新宿区社会福祉協議会と連携したボランティアとの協働事業の実施			
【取組み内容】 ①「落語会」「お絵かきワークショップ」の実施 ②朗読会の開催、ボランティアとの協働による配架・書架整理等			
【実施した取組み内容】 ①公益社団法人落語芸術協会と連携した「北新宿寄席」（令和4年度）、「お絵かきワークショップ」（令和3年度）を実施した。 ②夏目漱石に関する朗読会（2回）（令和3年度・4年度）、平和朗読会「親子で楽しむ朗読会」（令和4年度）、ハンドメイド講座の開催（令和4年度）等。他に図書館サポーターとして月5回配架・書架整理を行っている。			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
事業参加人数	28	38	45
連携事業開催数	2	4	5
連携事業参加者数	28	44	50
次年度に向けた改善点 連携・協働イベントは募集開始後すぐに定員となってしまうことが多く、アンケート結果からも満足度の高い様子が見えるので、より多く参加いただけるよう募集人数や開催数を増やすなど調整し、引き続き取り組む。			

中町図書館全館取組み事業報告シート

(4) 図書館を応援する地域団体との協働事業			
【事業内容】 ①東京日仏学院(旧：アンスティチュ・フランセ東京)との連携 ②東京理科大学大学院との連携			
【取組み内容】 重点事業参照			
【実施した取組み内容】 重点事業参照			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
①連携回数	3	3	8
①参加人数	21	27	30
②連携回数	1	2	2
②参加人数	12	28	24
次年度に向けた改善点 継続して連携していく。東京日仏学院との連携については、参加者に好評のお話を奇数月の定期開催とする。			

角筈図書館全館取組み事業報告シート

(4) 図書館を応援する地域団体との協働事業			
【事業内容】 ①西新宿児童館おでかけおはなし会 ②角筈地区青少年育成委員会との連携企画			
【取組み内容】 ①西新宿児童館に赴きおでかけおはなし会を開催する ②うちわデザイン画コンテスト作品展			
【実施した取組み内容】 ①毎月第2木曜日に西新宿児童館の乳幼児サークル向けにおはなし会を行った。 ②角筈地区の『納涼盆おどり大会』に併設して行う「うちわデザイン画コンテスト応募作品」を館内の児童コーナー周辺に展示した。			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
おはなし会参加人数	99	193	200
コンテスト作品数	134	200	200
次年度に向けた改善点 職員が出向いておはなし会を体験してもらうことで、定例おはなし会、児童向けイベントへ誘致する。 地域イベントと連携しているため、今後も展示スペースの確保と親子の関心を引く展示方法を実践していく。			

大久保図書館全館取組み事業報告シート

(4) 図書館を応援する地域団体との協働事業			
【事業内容】			
①「大久保地域センター五月まつりおはなし会」の実施 ②大久保・百人町地区クリーン活動に参加			
【取組み内容】			
①地域センターと連携をとり、おはなし会を実施。特に、地域資料である絵本『笑顔をくれたおおくぼつつじ』の紹介をはじめ、親子の参加者に図書館利用をアピールする。 ②クリーン活動に参加することにより、特別出張所、新大久保商店街振興組合、地域の様々な団体とも連携を深めていく。			
【実施した取組み内容】			
①コロナ禍のため、令和3年度、令和4年度ともに中止。地域センターとは、平日頃から情報共有に努めた。 ②原則、第4木曜日午後実施。令和3年度はコロナのため中止が多かったが、令和4年度は、ほぼ例年通りに再開。可能な限り参加した。町会の方とも信頼関係を築き、日本語学校の留学生と一緒に活動することもあった。			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
地域センターまつり	中止	中止	30
クリーン活動参加回数	3	8	10
次年度に向けた改善点			
令和5年度は「五月まつり」の開催は決定しており、内容を充実させて、おはなし会を開催する。 クリーン活動も可能な限り参加をし、地域との信頼関係をより強固にし、外国人留学生ともコミュニケーションを図っていく。			

下落合図書館全館取組み事業報告シート

(4) 図書館を応援する地域団体との協働事業			
【事業内容】			
①「染の小道」実行委員会との連携 ②地域の染色工房との連携 ③クリアソン新宿との連携			
【取組み内容】			
①地域のまち歩きと染色工房での見学・染物体験会、染色業をテーマにした企画展示の実施 ②染色工房の職人を講師に招いた染物体験会の実施 ③クリアソン新宿とのコラボ展示の実施			
【実施した取組み内容】			
①地域イベント「染の小道」実行委員会の代表者による地域散策と、染色工房の見学・染物体験を行った。 ②地域の染色工房「染の里おちあい」より講師を招き、型染によるサコッシュの染物体験を行った。 ③新宿区サッカークラブ Criacao Shinjuku (クリアソン新宿) のグッズや試合情報と共に資料を展示した。選手からおすすめの本を紹介してもらい、資料展示・POP・ブックリストを通じて紹介した。			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
イベント総参加数	14	10	15
染色関連展示貸出数	138	164	180
サッカー関連展示貸出数	223	185	230
次年度に向けた改善点			
地域の染色工房との連携は、文化普及と貴重な体験を提供するため継続していく。コロナ禍以降、イベント参加数を大幅に制限していたが、感染対策緩和に伴い、より多くの方に参加してもらえるように検討している。			

中央・こども図書館全館取組み事業報告シート

(5) 調べ学習への支援			
【事業内容】 子ども読書リーダー講座の開催			
【取組み内容】 子どもたち自ら読書活動の中心となることを目指し、小学4年生から中学生を対象に本や図書館の楽しさを実感できる講座を実施する。			
【実施した取組み内容】 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により事業を中止したが、令和4年度は以下のとおり実施した。 実施日：令和4年8月6日（土）、9日（火）、11日（木） 内容：「一日図書館員体験」（POPづくり、本の修理、病院配本用資料の選定・貸出処理）			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
実施回数	未実施	3	10
参加人数	未実施	42	100
次年度に向けた改善点 新型コロナウイルス感染症拡大以前に実施していた「おはなし会で読み聞かせをやってみよう！」の再開や新たな企画を行い、より多くの子どもたちに参加してもらえるよう、内容の充実を図る。			

四谷図書館全館取組み事業報告シート

(5) 調べ学習への支援			
【事業内容】 調べる学習コンクール			
【取組み内容】 担当の小・中学校への参加依頼、作品回収、合同審査、表彰			
【実施した取組み内容】 担当の小・中学校への参加依頼を実施して、102点の応募があった。 また、「新宿区立図書館を使った調べる学習コンクール出張調べ方講座」として成女学園中学校4名からの相談を受けた。			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
参加点数	114	102	120
出前調べ方講座	0	1	2
次年度に向けた改善点 小学校への参加依頼は担当校で100点以上を目標にして、応募が少ない中学校への働きかけを強化していく。			

鶴巻図書館全館取組み事業報告シート

(5) 調べ学習への支援			
【事業内容】			
①「調べる学習コンクール関連事業の開催」			
②地域の学校の図書館見学や職場体験の受け入れ			
【取組み内容】			
①コンクールに関しては保護者に熱心な方が多く、親子での相談に応じる体制を整える。学校からの要請は出張授業に可能な限り応じる。			
②図書館見学については、例年近隣の小学校から、職場体験については近隣中学校からの依頼に対応している。			
【実施した取組み内容】			
①令和3年度までは、親子で相談に訪れる人たちを中心に、個別相談会を実施。 令和4年度は、より多くの児童・生徒と保護者の相談に対応をするため、事前配布した用紙に質問事項を記入してもらい来館時に迅速にレファレンスに応じる「調べものお助け戦隊 レファレンズ」を実施した。			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
個別相談会(人数)	18	—	事業変更
レファレンス件数	—	76	100
出張授業時間数	4	8	10
出張授業対象生徒数	55	245	250
図書館見学参加者数	199	176	200
職場体験参加者数	4	8	10
次年度に向けた改善点			
新型コロナウイルスの関係で中止・延期していた学校関係の事業が再開している。調べる学習コンクールをはじめ様々な事柄で、学校と接触・対話していく機会は増えていくので、適切に対処したい。			

西落合図書館全館取組み事業報告シート

(5) 調べ学習への支援			
【事業内容】			
自由研究相談会の開催			
【取組み内容】			
小学生から中学生を対象に、それぞれの課題に応じて必要な資料の案内や調べ学習のコツについて解説を行う。			
【実施した取組み内容】			
令和3年度：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止			
令和4年度：令和4年7月26日（火）、8月2日（火）、8月9日（火）、8月16日（火）、8月23日（火）いずれも午後1時30分～午後3時30分			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
参加人数	中止	14	20
次年度に向けた改善点			
会議室を会場にしていたため、参加者は少し入りづらそうであった。今後は相談しやすい雰囲気作りが必要である。			

戸山図書館全館取組み事業報告シート

(5) 調べ学習への支援			
【事業内容】 ①資料展示 ②学習支援事業 ③学校へ出張授業			
【取組み内容】 ①資料展示「しらべる→なっとくステーション」の実施 ②「調べる学習ガイダンス」「個別相談会」「理科実験教室」「JICA地球ひろば見学」「百科事典講座」「読売新聞社記者による講座」「(「百科事典講座」「読売新聞記者派遣」は令和4年度のみ)」の実施 ③担当校へ出張授業の実施			
【実施した取組み内容】 ①年間を通して4つのテーマ設定に基づいた資料を展示し、多くの貸出につなげることができた。 ②図書館職員・外部の講師を招いた講義、JICA地球ひろばなど外部施設へ見学で学習支援した。実践的な作品の作り方をサポートする企画と児童の知的好奇心を刺激する企画の両面から事業を展開した。 ③担当校から依頼を受けて、出張授業を行い、調べる学習の基本的な進め方を講義した。			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
応募作品数	319	478	550
展示資料貸出冊数	202	529	600
出張授業実施回数	1	3	4
次年度に向けた改善点 資料展示や学習支援事業などを通して、調べる学習に取り組む児童を多面的に支援できた。また、出張授業を行ったことで、作品数の増加や質の向上に貢献できた。今後はより学習支援事業の内容を充実させ、参加者数増加と質の向上に努める。			
図書館運営協議会からのコメント 調べ学習について出張授業などを行い、熱心に取り組んでいると、成果として現れるのだと感じる。			

北新宿図書館全館取組み事業報告シート

(5) 調べ学習への支援			
【事業内容】 調べ学習に役立つようなイベント開催と資料展示			
【取組み内容】 外部機関へ見学会、関連資料展示の実施			
【実施した取組み内容】 「みんなで知ろう！考えよう！世界のためにできること」と題し、区内にあるJICA地球ひろば内の体験ゾーン見学と青年海外協力隊の体験談を聞くイベントを実施した。 連動企画として、国際協力や国際情勢を調べるための資料展示や、そのブックリスト、見学時に気になったことを記入する「調べ案内」というリーフレットの配布を行った。			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
イベント参加人数	中止	2	10
展示資料冊数	22	36	40
展示資料貸出冊数	63	33	60
次年度に向けた改善点 募集時に定員に到達していない状況があるので、周知方法を見直し参加人数の増加を目指す。 令和5年度はイベント実施だけでなく、感染拡大の影響で実施できなかった「出張授業」を再開し、館外での調べ学習への支援に注力する。			

中町図書館全館取組み事業報告シート

(5) 調べ学習への支援			
【事業内容】			
①小中学校への出張授業			
②調べ方講座を実施			
③「新宿区立図書館を使った調べる学習コンクール」			
【取組み内容】			
①担当学校（津久戸小学校、牛込仲之小学校、愛日小学校）からの依頼で調べ方に関する出張授業を実施。			
②図書館内で調べ方講座をテーマの決め方、調べ方、まとめ方の3回に分けて実施した。			
③「新宿区立図書館を使った調べる学習コンクール」開催・運営全般について実施した。			
【実施した取組み内容】			
①小学校に出向き、クラスごとに授業時間をいただいて、調べ方のオリエンテーション授業を行った。			
②夏休みの期間に実施。児童レファレンスへの対応と、調べる学習コンクールへの参加を呼びかけた。			
③年度初めの担当校への挨拶、出張授業の実施、作品の応募を受けて図書館での審査、区立図書館全館での合同審査を経て受賞者は表彰式で表彰。受賞作品は、全国コンクールに応募するとともにレプリカを作成し、区立図書館の蔵書とする。調べる学習コンクール事業の企画、実施・開催を幹事館中心に全館で運営。			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
①実施クラス数	6	8	8
②参加者数	10	10	15
③応募作品数	285	273	300
次年度に向けた改善点			
令和4年度で14回目となった「新宿区立図書館を使った調べる学習コンクール」は、継続して実施していることで、その成果が子どもたちの作品に表れている。今後も継続して実施する。			

角筈図書館全館取組み事業報告シート

(5) 調べ学習への支援			
【事業内容】			
「図書館を使った調べる学習コンクール」の地域コンクールとして実施。			
【取組み内容】			
生涯学習として有効な「調べる学習」を図書館の利用を通じて体験し、その発表の場として活用してもらう。			
作品内容の質の向上を図るための学習支援企画を開催。優秀作品は全国コンクールへ推薦。			
【実施した取組み内容】			
学習支援講座：自由研究応援講座「百科事典を使って謎を解こう！」（子ども読書リーダー講座対応）他、「個別相談会」「ICCギャラリーツアー【メディア・アートに触れよう】」「学校への出張授業」を実施。			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
講座回数	4	4	8
講座参加者数	51	29	80
全国コンクール受賞数	3	2	3
次年度に向けた改善点			
新型コロナウイルスの影響で実施出来なかった学校訪問と、学習支援講座を再開する。			

大久保図書館全館取組み事業報告シート

(5) 調べ学習への支援			
【事業内容】 調べる学習コンクール窓口相談業務の実施			
【取組み内容】 夏休み期間中は、随時児童担当者が、窓口相談業務を受付することができる体制を整えていく。必要に応じて、韓国語と中国語の対応も可能な状態にする。			
【実施した取組み内容】 令和3年度は、児童や生徒からの相談を随時受け付けた。 令和4年度は、窓口業務のほかに、7月に学校を訪問しての出張説明会を、2校4クラスで実施した。その結果、児童や生徒からの相談、あるいは親子での相談が増えた。			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
応募人数	129	283	300
出張講座実施校	0校	2校	3校
③応募作品数	285	273	300
次年度に向けた改善点 出張説明会を実施したことにより、応募数が増えたことと、要点をおさえ、内容が充実している作品が多くなった。引き続き出張説明会を継続し、窓口相談も継続して行い、内容を充実させていく。			
図書館運営協議会からのコメント 調べ学習について出張授業などを行い、熱心に取り組んでいると、成果として現れるのだと感じる。			

下落合図書館全館取組み事業報告シート

(5) 調べ学習への支援			
【事業内容】 新宿区立図書館を使った調べる学習コンクールへの支援			
【取組み内容】 近隣の小中学校への事業説明及び、作品の回収・審査を行い、上位入賞作品を全国コンクールへ出品した。			
【実施した取組み内容】 ①調べる学習保護者向けガイダンスイベントの実施 ②戸塚第三小学校4年生に出張授業 ③多摩動物公園より飼育員を講師とした講演イベントの実施 ④百科事典の使い方講座の実施 ⑤図書館員による調べる学習の相談会の実施			
指標	【令和3年度実績】	【令和4年度実績】	【令和5年度目標値】
応募作品数	96	98	100
イベント参加人数	9	82	120
次年度に向けた改善点 児童の興味を引き、作品提出の増加やクオリティの上昇を目的としたイベントを行い、作品数の増加を目指す。また、学校へ出張授業や、保護者向けのイベントを行い、周囲の理解を深めていきたい。			

中央・こども図書館全館取組み事業報告シート

(6) 新型コロナウイルス感染症対策下における取組み
【安全面での感染症対策について】 ・当初は一日2回の換気・消毒時間を実施していたが、現在は一部の窓を開けたままにすることで館内の換気に努めている。 ・座席の利用制限については、令和3年度からパーテーションを設置し個別に区切った。 ・窓口で利用者カードを直接手で受け渡ししないよう、引き続き受け取り用のトレイを使用している。 ・窓口での利用者と職員の接触をなるべく減らすため、引き続き自動貸出機の利用を促す貼紙を設置している。
【サービス等の実施における努力や工夫について】 ・来館されない方も講座等に参加できるよう、令和3年度からインターネットを利用した方法（Zoomの活用または動画の公開）で実施した。 ・来館されない方にも情報が提供できるよう、各種データベースや公共施設・大学で提供しているサービス等について案内する「docodemo図書室」を引き続き図書館ホームページで公開した。また、全館でパスファインダーを作成し、同ホームページに掲載した。
次年度に向けた改善点 令和4年6月1日に入館制限の解除、座席の利用制限の緩和、マスク着用の緩和を行った。感染症が再度拡大した際は、令和2・3年度の取組みを参考にし、利用者への制限を最大限少なくなるような工夫をする必要である。 臨時休館した経験等を活かし、郵送貸出や電子書籍の導入について検討していく。

四谷図書館全館取組み事業報告シート

(6) 新型コロナウイルス感染症対策下における取組み
【安全面での感染症対策について】 図書館入口に検温器を設置して、入館者に体温を簡単に測れるようにして健康管理を促した。また、手指の消毒用にアルコールを常備して、感染予防に努めた。閲覧席にシールドを立てて、利用者同士の感染予防を働きかけた。
【サービス等の実施における努力や工夫について】 「おはなし会」などイベント実施に際しては、予約制にして参加利用者が特定できるように工夫するとともに、新型コロナの感染状況によって中止にした場合に速やかに連絡できるように対応した。
次年度に向けた改善点 今後は5類移行に伴い、感染対策の緩和、参加者の増加が考えられるので、状況に応じた速やかな対応を心がけていく。

鶴巻図書館全館取組み事業報告シート

(6) 新型コロナウイルス感染症対策下における取組み
【安全面での感染症対策について】 館内の換気、消毒、清掃については、区の方針に則って対応してきた。鶴巻図書館は単独館であるため、清掃箇所が多い。 人員配置をローテーションに組み入れ、個人によって差がでたり、抜け落ちのないように、清掃表を作ってマニュアル通りに運用してきた。
【サービス等の実施における努力や工夫について】 令和2年以降、継続的に毎年1回のオンライン講座を実施し、人が集まらなくてもオンライン上で図書館イベントを開催してきた。 また、イベント実施の際は、できるだけ人数を制限したり、大きな会場で開催するなど密を避ける対策に力を入れた。具体的には、人生100年講座として、近隣の精神科医師であり人気YouTuberでもある先生をお招きし「ストレスを味方にする生き方～臨床医からの提案～」をZoomを使ったオンラインで実施し221名の参加があった。 また、毎回多くの参加希望がある人形劇は、近隣小学校の体育館で実施した。
次年度に向けた改善点 令和5年度以降については、新型コロナの感染法上の位置づけが変わるので、区の方針に則って、対応を考えていきたい。

西落合図書館全館取組み事業報告シート

(6) 新型コロナウイルス感染症対策下における取組み
【安全面での感染症対策について】 ・一日2回の換気・消毒時間を前年度に引き続き設けた。 ・閲覧席の間引きについて、前年度に引き続き実施している。 ・窓口において利用者カードを直接手で受け渡ししないよう、前年度に引き続き受け取り用のトレイを使用している。 ・窓口での利用者と職員の接触をなるべく減らすため、前年度に引き続き自動貸出機の利用を促す貼紙を設置している。 ・カウンター前の導線に赤いテープを表示して、カウンター待ちの利用者の列の間隔を空けている。
【サービス等の実施における努力や工夫について】 行事イベントについては、事前予約制、参加者全員の氏名連絡先の把握、検温、小学生以上はマスク着用、手指消毒、会場でのソーシャルディスタンスを徹底した。
次年度に向けた改善点 令和4年6月1日に入館制限の解除、座席の利用制限の緩和、マスク着用の緩和を行った。コロナが5類に移行した後も、ウィズコロナ政策のもとに、利用者への制限が最大限少なくなるような工夫をする必要がある。 来館されない方にも講座等に参加できるようにインターネットを利用した方法（Zoomの活用等）を取り入れる必要がある。

戸山図書館全館取組み事業報告シート

(6) 新型コロナウイルス感染症対策下における取組み
【安全面での感染症対策について】 以下の点を継続して実施している。 ・利用者同士の距離が保てるよう、カウンター前に並ぶ位置を示したシールを貼付した。 ・閲覧席の削減、種子消毒用アルコールの設置、飛沫防止対策としてビニールカーテンを設置。 ・職員の出勤時に検温の実施、座席位置の工夫、カウンターでの手袋の着用。
【サービス等の実施における努力や工夫について】 ・令和4年11月より定例おはなし会を再開。3組までに限定し、予約制で実施した。 ・利用者同士の密を避けるため、リサイクル資料は不定期で提供した。 ・イベントは全て予約制で行い、一定期間、参加者の名前と連絡先を保管した。 ・イベント会場では、入口の開放、換気扇による換気を適宜行った。すべてのイベントで入室時の手指消毒、検温を実施した。また、一定の距離を保つことができる距離に机・椅子を設置した。
次年度に向けた改善点 5月以降は新型コロナウイルスの取り扱いも変更される予定であるが、今後も新宿区の方針に従い、対策を実施する。閲覧席の利用制限については利用者から解除の要望も寄せられているため、区の方針に合う範囲で席数の増加も検討していく。

北新宿図書館全館取組み事業報告シート

(6) 新型コロナウイルス感染症対策下における取組み
【安全面での感染症対策について】 ①館内の空気清浄機の増設、換気の常時実施 ②書籍消毒機などの設置 ③予約資料の清拭の実施 ④閲覧席利用制限の実施 ⑤おはなし会などの実施場所変更などの実施 ⑥館内掲示等によるスペース区分けの実施
【サービス等の実施における努力や工夫について】 ①空気清浄機の増設、サーキュレーター導入 ②書籍消毒機、書籍消毒用のアルコールを設置 ③到着する予約資料に対し、書籍消毒用アルコールによる表面拭取りを実施（令和3年度） ④閲覧席利用制限の継続とアクリルパーテーション設置 ⑤北新宿生涯学習館での実施に切り替え、参加者間のスペースを確保。手指消毒・検温の実施。イベント中はペンや色鉛筆などの共有使用を中止。 ⑥掲示物にて、書架・閲覧席、OPACなど間隔を保った利用を促進。密集状況となりやすい絵本架やカウンター前などはピクトグラムなどで動線を明示。
次年度に向けた改善点 閲覧席利用制限については今後、閲覧席を少しずつ戻し座席数を増やしていく。 空気清浄機の設置場所を閲覧席付近に移動するなど、安心してご利用いただけるよう工夫する。

中町図書館全館取組み事業報告シート

(6) 新型コロナウイルス感染症対策下における取組み
【安全面での感染症対策について】 ・検温、手指消毒、マスク着用、定期的な消毒・清掃の実施、除菌機（資料用）の設置 ・カウンター、閲覧席、事務室内へのパーティション設置、カウンターで貸出カード受け渡し用のカート使用
【サービス等の実施における努力や工夫について】 ・館内でソーシャルディスタンスを保つための、並ぶ位置への足跡マークなどの設置 ・子どもの高さに合わせたアルコールの設置 ・資料の消毒のためにセルフサービスで使えるアルコール除菌スプレーの設置 ・資料の手渡し時の配慮
次年度に向けた改善点 感染法上の5類への移行を控えているが、引き続き感染対策は取りながら対応する。職員はマスクを着用して業務に当たる。座席についてもパーティションの使用は継続し、隣の席との間隔が極端に狭い、現在設置しているパーティションを引き続き使用する予定。

角筈図書館全館取組み事業報告シート

(6) 新型コロナウイルス感染症対策下における取組み
【安全面での感染症対策について】 令和4年5月までは一日に二度（日祝日は一度）利用者に退館をお願いして消毒と換気の時間を設けていた。また座席数の大幅な削減も併行して行っていた。 同年6月以降は区の方針変更に伴い、消毒と換気の時間は廃止し、座席数も増やした。 現在、入館前の検温・消毒は継続して行っているが、いずれも利用者任意となっている。 カウンター・閲覧席へのビニールシート、アクリル板の設置、窓の常時開放・換気などは継続して行っている。
【サービス等の実施における努力や工夫について】 令和2年度はほぼ全ての行事が開催出来なかったが、3年度以降は徐々に以前の開催数に回復している。 4年度前半までは図書館と同じ建物内の会場がワクチン接種会場となっていたため行事に使用できず、隣接する中央公園内のエコギャラリー新宿を借りて開催したが、4年度後半からは同じ建物内の会場が使用できるようになった。
次年度に向けた改善点 感染症は収束に向かっているが、行事開催が困難な際のウェブ上での代替開催などを工夫したい。既にYouTubeでの配信なども準備中である。

大久保図書館全館取組み事業報告シート

(6) 新型コロナウイルス感染症対策下における取組み
【安全面での感染症対策について】 ・1日2回の消毒と換気の実施。 ・サーマルカメラによる検温、必要に応じて非接触型の検温器を併用した。 ・ソーシャルディスタンスを考慮して、閲覧席の利用を制限した。 ・職員はマスクと手袋を着用（就業前には必ず検温を実施。手指消毒を徹底） ・利用者カードの受け渡しは、原則としてトレーを使用。
【サービス等の実施における努力や工夫について】 ・絵本コーナーのカーペットを撤去し、ひとり用のマットを5枚、ランダムに設置。ソーシャルディスタンスを維持しつつ、親子でも寛いで使用できることを可能にした。 ・おはなし会の再開時、2回に分け事前予約定員制にした。 ・大人向けのイベントも感染対策を万全にして、可能な限り開催実現に努めた。 ・来館できない方のために、読み聞かせの動画を制作し、日本語・韓国語・中国語で配信した。 ・外国人へのコロナに関する情報については「やさしい日本語」でポスター・チラシを作成し、発信に努めた。
次年度に向けた改善点 職員から感染者が発生しないように感染対策は万全にして行う。閲覧席の微増を検討する。動画の配信は、協力者や団体と相談をしながら、言語のレパートリーを増やすことを検討する。

下落合図書館全館取組み事業報告シート

(6) 新型コロナウイルス感染症対策下における取組み
【安全面での感染症対策について】 ・令和3年～4年6月まで、1日2回利用者全員を退館させての館内消毒を行っていた。 ・図書館入口に手指消毒ディフューザーと検温器を設置し、ウイルスを持ち込ませない取組みを行っている。 ・飛沫感染防止として常時館内の換気を行っている。 ・スツール席は間引きを行い間隔を空けて設置している。 ・イベント参加者には、検温・手指消毒・マスク着用をお願いし、参加人数も削減し座席の間隔も空けている。
【サービス等の実施における努力や工夫について】 ・机のある閲覧席は、すべて机上をパーテーションで区切り感染防止に努めている。 ・これまで通常開館日に行っていた小学生の図書館見学を、不特定多数の一般利用者のいない館内整理日での実施を提案し、中止することなく感染対策に気を配りながら実施している。 ・新型コロナウイルスや感染症についての資料や、自宅で活用できるテレワークや趣味の資料等について、積極的に収集を行っている。 ・カウンター前の床に足型目印をつけることによって、間隔を空けて並べるよう配慮している。
次年度に向けた改善点 感染対策も徐々に緩和の傾向に向っているが、気を緩めることなくスタッフのマスク着用や出勤時の検温による体調把握などは継続していく。イベントについては、内容や状況を見ながら参加人数を増やしていく。

印刷物作成番号
2023-27-5519

新宿区立図書館サービス計画（令和 6 年度～9 年度）

発行年月 令和 6 年 3 月

発 行 新宿区立中央図書館

新宿区大久保三丁目 1 番 1 号

電話 03-3364-1421（直通）

FAX 03-3208-2303

新宿区は、環境への負荷を少なくし、未来の環境を創造するまちづくりを推進しています。

本誌は森林資源の保護とリサイクルの促進のため、古紙を利用した再生紙を使用しています。